

2017 1
WINTER

No.450

かごしま トラック情報

Kagoshima truck information

主な内容

巻頭

新年の挨拶

TOPICS

トラック運送事業者のための人材確保セミナー
物流出前講座(日置市立伊集院小学校)

など

お知らせ掲示板

事業用トラックドライバー研修テキストのご案内
整備管理者「選任後」研修のご案内

など

情報ボックス

運行管理者試験対策事前講習会のご案内
平成28年度物流セミナーのご案内

など



公益社団法人

鹿児島県トラック協会 <http://www.kta.jp>

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4-15 ☎099-261-1167 E-mail / kentora@kta.jp

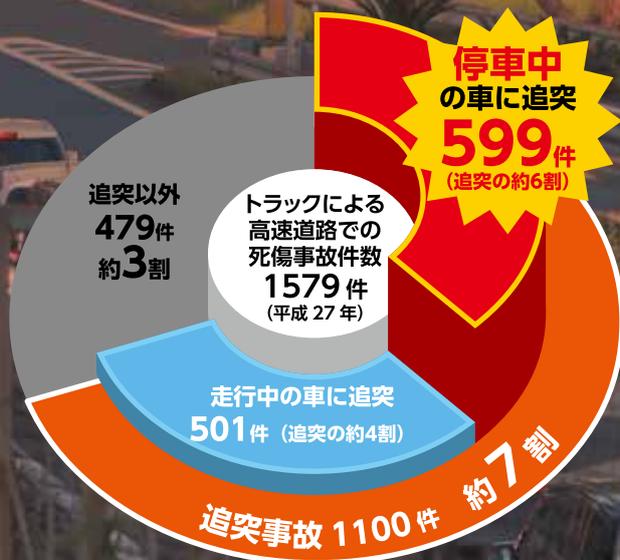
トラックによる 死傷事故の過半数、 高速では約7割が 追突事故です。

渋滞中

人身事故
(平成27年)

死亡事故
(平成23~27年)

追突事故の主な原因				
19%	39%	25%	17%	
居眠り運転	脇見運転	だろろ運転	その他	
50%	36%	5%	9%	



トラックによる追突死亡事故の約9割は、居眠り・脇見・だろろ運転が原因

高速道路での追突事故の約6割は、停車中の車への追突

出典：(公財) 交通事故総合分析センター

常に渋滞を見据えた安全運転を！

運行管理者

トラックドライバー

- 勤務時間及び乗務時間に係る基準の遵守
- 乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握
- 健康管理と漫然運転防止
- 車間距離確保と制限速度遵守

かごしま トラック情報

2017 1
WINTER
No.450

CONTENTS

巻頭

新年のご挨拶(鹿児島県トラック協会長)	2
年頭ご挨拶(全日本トラック協会長)	4
年頭の辞(鹿児島県知事)	6
年頭の辞(九州運輸局長)	7
年頭の辞(九州運輸局鹿児島運輸支局次長)	8
年頭の辞(鹿児島労働局長)	9
年頭の辞(鹿児島県警察本部交通部長)	10
新年の挨拶(支部長, 部会長)	11

TOPICS

トラック運送事業者のための人材確保セミナー	16
物流出前講座(日置市立伊集院小学校)	
環境出前講座(鹿児島市立玉江小学校)	17

お知らせ掲示板

事業用トラックドライバー研修テキストのご案内	18
整備管理者「選任後」研修のご案内	20
国土交通省認定NASVAリスク管理(基礎)セミナーのご案内	22
事業用自動車の運転者等の覚醒剤等の使用禁止徹底のお願い	23
～ETC2.0車載器購入促進助成の申請をご検討中の皆様へ～早期の申請にご協力をお願いします!	
下請取引の適正化について	

情報ボックス

平成28年度物流セミナーのご案内	24
運行管理者試験対策事前講習会のご案内	26
「大型車・特車通行許可制度等及びETC2.0を活用した賢い物流管理」講習会のご案内	27
初任運転者研修のご案内	28
幹部・管理者研修のご案内	29
平成28年度近代化基金融資公募のご案内	30
平成28年度中小企業大学校講座受講促進助成制度のご案内	34
助成金制度の締め切りが迫りました!	35
新作貸出DVDのご案内	
安全装置等導入促進助成事業に係る対象機器追加等のお知らせ	

交通安全情報

冬場の安全運転ポイント	36
-------------------	----

適正化だより

平成28年度11月 巡回指導結果	37
------------------------	----

Gマークだより

平成28年度安全性優良事業所新規23事業所・更新82事業所が認定	38
--	----

支部・部会だより

支部・部会開催状況	40
-----------------	----

資料データ

過積載違反の取締り状況・苦情内容	42
鹿児島県内における交通事故の発生状況	43
軽油価格調査報告	44

協会の動き(平成28年12月)	45
-----------------------	----

お知らせカレンダー(平成29年1月)	46
--------------------------	----

鹿児島県トラック協会年間行事予定表	47
-------------------------	----

陸災防情報

平成28年度安全衛生標語入選作品が決定しました!	48
平成28年度年末年始ゼロ災鹿児島推進運動の期間です!	49
厚生労働省冊子「重大な労働災害を防ぐためには」発行のご案内	50
鹿児島県内における労働災害の発生状況	51

コミュニティ広場	52
----------------	----



新年のご挨拶

公益社団法人鹿児島県トラック協会

会長 中村 利秋

新年あけましておめでとうございます。

平成 29 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当協会の運営にご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、4 月に発生した熊本地震は、隣県であるような地震が発生するとは予想すらしない大災害でした。地震により、九州の大動脈である九州自動車道が寸断され、多くの長距離輸送を担う会員は、輸送ルートの確保に大変苦慮されたところでもあります。当協会においては、鹿児島県と締結している「緊急・救援物資等輸送に関する協定」に基づき、自治体等から要請のあった救援物資輸送のほかに、自治体や企業等からの要請に対して、多くの会員のご協力により被災地へ物資を届けました。また、全ト協の発議によるお見舞金については、多くの支部や会員の皆様から多額の見舞金をいただきました。その中の一部については、直接、熊本県トラック協会に贈呈いたしました。皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。

さて、昨年の我が国の経済は、引き続き緩やかに景気回復基調にあるとされていますが、地方の経済、とりわけ鹿児島においてはいまだに実感できていないのが現状です。トラック運送業界においては、燃料

価格が一段落しているとはいうものの、物量は伸び悩んでおり、また、安全対策や環境対策の取組みに加え、近年、特にドライバー不足が深刻となっており、業界を取り巻く課題は依然として山積しています。

このような中、国において、私どもトラック運送事業における長時間労働の抑制に向けた環境整備を進めることとされ、関係行政機関や荷主団体等との連携による「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」が中央と 47 都道府県に設置され、本県においても「地方協議会」として、これまで 4 回の協議会が開催され、労働環境の改善の方策が協議されています。

今年度と来年度にかけて、発荷主・着荷主及びトラック運送事業者で構成、労働環境の改善に向けて実施されるパイロット事業で明らかになる課題や解決策を基に、平成 30 年度に長時間労働改善ガイドラインとして取りまとめられます。

業界の長年の懸案であります長時間労働の抑制に向けて、荷主企業と関係当局のご協力を得て改善を図るとともに、県内で生産された農畜産物等の関東・関西の大消費地への“長距離輸送”を担う当県のトラック運送事業者が、引続き地域経済に貢献する産業として維持存続できる取引環境の整備を進めたいと考えております。

また、労働時間の問題とならんでドライ

パー不足が喫緊の課題となっております。少子高齢化が進み、人口減少が進む中、特に若年層のドライバー確保は大変難しい状況にあります。当協会としても、人材育成のための大型・中型・けん引免許の取得に対する助成や、高校生、小学生向けの「物流出前講座」を通じた物流の重要性の広報に努めています。今年は3月施行の準中型免許も含めた免許助成の拡大や、更には若年、女性ドライバー等の確保、定着、育成を目的に、新たな人材確保に向けた取組みを検討してまいります。

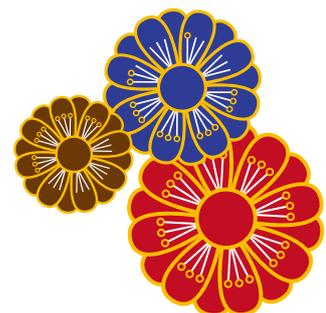
また、公道を利用して事業を行っている私どもトラック運送業界の社会的責務である交通安全対策については、高齢者を対象とした「ふれあいトラック交通安全教室」や研修施設を活用したドライバー研修などの事故防止に努めていますが、昨年、陸災防と共同で研修用DVD「事故ゼロを目指して」を作製し、会員の皆様に配布しました。社内研修に活用ください。

さて、「安全性優良事業所」認定制度（Gマーク）については、安全性に対する取組みを評価し、優良事業所として認定しており、昨年末現在、全国で23,414事業所、当県においては260事業所が認定されていますが、全国平均の取得率27.8%と比較し、当県は17.9%と低い状況にあります。そこで、昨年12月の理事会におい

て、協会としてGマークの取得を進めることとし、特に、支部、部会においてGマーク取得を努力目標に掲げ、積極的に取り組むこととされました。会員の皆様におかれましては、安全の証しであるGマーク取得に是非取り組んでいただきますようお願いいたします。

昨年6月に協会長を拝命してから半年が過ぎました。平成28年度の事業を粛々と執行していますが、年明けには平成29年度の予算編成の時期となります。今年度の活動の進捗状況を把握し、議論しながら、「県民のための協会」、また「会員のための協会」を目指して、役職員一同最善を尽くして参りますので、会員の皆様方の更なるご理解・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝・ご多幸と会員事業者のご発展をお祈り申し上げて、年頭のご挨拶といたします。





年頭所感

公益社団法人全日本トラック協会

会長 星野 良三

平成29年の新年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成28年を振り返りますと、一昨年からは燃料価格が下がりトラック運送業の経営改善が図られましたが、12月に石油輸出国機構の原油減産合意がなされた一方、米国の利上げにより円安が進行するなど今年の燃料価格の動向は、これまで以上に注視していく必要があると思います。

国内経済情勢を見ると、アベノミクス効果に加え数次の経済対策により景気改善が進む反面、人手不足が強まりました。労働条件が一般産業と比べ劣るトラック運送業界では、ドライバーの確保が一段と厳しくなっています。このため、全ト協は二つのことに取り組んでいます。一つは「トラック

輸送における取引環境・労働時間改善協議会」の設置及び運営です。労働基準法の改正を期に、国土交通省及び厚生労働省のご指導により、荷主も入った形で中央及び47都道府県全てに作っていただきました。我が業界始まって以来の取り組みであり、手待ち時間の解消や附帯業務の有償化など、全ト協及び地方ト協が連携して総力を挙げて取り組んでまいります。

二つ目は、「準中型免許」の創設であります。我が業界にとって「中型免許問題」が長年の懸案でありましたが、昨年、道路交通法を改正していただき、高校新卒者が2トン車を運転できる免許を作っていただきました。本年3月の施行を踏まえ、若年労働者の確保がますます難しくなる中、あらゆる施策を投入し高校新卒者の大

量採用を実現してまいります。

最後ですが、平成23年6月に会長就任以来6年をかけて全国のトラック協会に直接出向き、会長及び副会長の皆様と懇談し地域で抱える諸課題について意見交換をして、これを全ト協の業務運営に反映させてまいりました。おかげさまで、本年6月をもっ

て全都道府県への訪問を終了する予定です。お世話になった会長、副会長の皆様に改めて御礼申し上げます。

結びとなりましたが、本年も会員事業者皆様方のますますのご発展とご健勝並びにご多幸を心より祈念し、新年にあたり私のご挨拶といたします。





年頭の辞

鹿児島県知事

三反園 訓

平成 29 年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

公益社団法人鹿児島県トラック協会の皆様には、日頃から本県交通政策の推進に多大な御理解・御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

皆様のトラック運送事業は、県民の日常生活を支えるライフラインとして、本県の産業・経済の振興に大きな役割を果たされるとともに、昨年 4 月の熊本地震のような緊急時には、トラックの機動力を活かして緊急支援物資の輸送を行っていただくなど、その役割は益々重要になっております。

我が国の景気は、緩やかな回復基調が続いていると言われておりますが、トラック業界においては、貨物輸送量の伸び悩みや、ドライバーの高齢化、若年労働力不足、荷主との適正取引の確保など様々な課題を抱えており、厳しい状況が続いています。また、このような状況においても、安全で安心な輸送サービスの提供をはじめ、環境対策や輸送効率の向上など、業界には様々な対応が求められています。

こうした中、貴協会におかれましては、低公害車等の導入支援や、環境意識高揚のための研修会の実施、安全意識や運転技能向上のための助成、物流効率化に向けた調査研究に取り組まれるなど、様々な課題に的確に対応されており、県としましても、貴協会の役割に大いに期待しているところです。

今後とも、運輸事業振興助成補助金も

活用しながら、安全確保や環境の保全、輸送の効率化等を図るため、適切な対応をお願いいたします。

トラック運送における物流の効率化等を図るためには、高速交通ネットワークの形成が不可欠であります。高規格幹線道路については、東九州自動車道及び南九州西回り自動車道の整備促進に努めているところであり、このうち、南九州西回り自動車道の野田インターから高尾野北インター間において、本年度中の供用が予定されております。

また、地域高規格道路については、本年度中の全線完成を予定している南薩縦貫道のほか、北薩横断道路や都城志布志道路などの整備を鋭意進めておりますので、今後とも、高規格幹線道路や地域高規格道路の早期供用に向け国と一体となって、整備に努めてまいります。

県としましては、引き続き、環境に優しく、効率的で持続可能な長距離物流ルートの確保に向けて、貴協会をはじめ、関係機関・団体と密接に連携しながら、必要な施策に取り組んでまいりますので、今後とも、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人鹿児島県トラック協会の益々の御発展並びに会員の皆様の御健勝・御活躍を祈念いたしますとともに、新しい年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。



年頭の辞

九州運輸局長

佐々木 良

平成 29 年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人鹿児島県トラック協会の皆様には、日頃から国土交通行政全般にわたりご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は熊本地震を始め、阿蘇山の噴火や豪雨もあり九州各地で甚大な災害が発生するなど厳しい年でありました。これらの災害により犠牲となられた方々とその御家族に対して謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

現在、各自治体等において南海トラフ巨大地震の被害想定や熊本地震等の経験などを踏まえた地域防災計画等の見直しが喫緊の課題となっています。災害時における支援物資の円滑な運送が行われるよう運輸事業者に対し、自治体との災害協定締結や防災訓練への参画などをお願いしていますが、九州運輸局としても、今後も平時からの防災意識の啓発、災害への更なる対応力の向上を図ってまいります。

最近の我が国の日本経済は緩やかな回復基調が続いていますが、トラック事業においては、長距離の運転、荷主都合の待ち時間等による長時間労働が常態化するほか、適正な運賃が収受できないなどの課題があります。また、運輸業界全般で労働力不足が大きな懸念材料となっておりますが、人材の確保の観点からも、労働条件の改善が重要となっております。

引き続き、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」の枠組みを活用するなど、荷主も含めた関係者と一体となって、取引環境・労働時間改善に向けて取り組んで参ります。特に昨年九州各県で行っているパイロット事業において、改善対策の具

体化を図ります。

九州からの輸送は、消費地からの距離が長い等の理由から、運転時間や拘束時間が長くなる傾向にあります。改善基準告示におけるフェリー特例の見直し、物流総合効率化法の改正等により、労働時間の改善等に資するモーダルシフト、共同配送等に取り組みやすい環境の整備を進めております。これらの制度等を活用し、物流の効率化を推進するとともに、実現にあたって制度上の課題等がございましたら、ご提案をよろしく願います。

言うまでもなく、輸送の安全・安心の確保は、自動車交通分野において最優先されるべきものです。昨年 1 月には、軽井沢スキーバス事故が発生し、多くの犠牲者が出ました。また、昨年 10 月に新東名高速道路において路肩に停車中の高速乗合バスにトラックが追突する死亡事故、同月に中国道において停車中の乗用車に追突する死亡事故など、九州運輸局管内のトラック事業者が関係する大きな事故が後を絶たない状況となっています。

今後も、貨物自動車運送事業安全性評価制度（G マーク制度）、安全マネジメントの推進など、トラック業界の皆様と一緒に安全対策に取り組むとともに、重大かつ悪質な法令違反の疑いのある事業者に対して、集中的な監査と厳格な処分等の措置を講じることにより、安全・安心の実現に全力で努めてまいります。

国土交通行政は地域の皆様の生活と切り離すことができないものであり、九州運輸局は「運輸と観光で九州の元気を創ります」をキャッチフレーズに、職員一丸で、社会・経済情勢の変化に対応した課題、要請等に的確に取り組んでまいり所存です。本年も、「社会と共生し、環境にやさしいトラック輸送の実現」を標榜される鹿児島県トラック協会の皆様の引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

結びに九州の発展と皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして新年のご挨拶と致します。



年頭の辞

九州運輸局
鹿兒島運輸支局次長
江藤 裕一

新年あけましておめでとうございます。

平成 29 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の我が国の景気は、国内全体では、「弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」とのこと、また、九州・沖縄においては、「熊本地震の影響が和らぐもとで、緩やかに回復している。」とのことですが、地方における景況感、各種統計調査のプラス数字ほどには、実感が湧かない状況かと思われます。

本年は、確実な国内経済の回復とともに、鹿児島県の地域経済が明るくなることを期待しております。

現在のトラック運送事業を取り巻く環境は、国内輸送量の伸び悩み、深刻な運転者不足と高齢化、輸送の少量多頻度化などによる物流コストの上昇等の影響により、依然として厳しいものがあります。

しかしながら、トラック運送事業は、国内物流の基幹的輸送機関として国内貨物輸送量の約 4 割（トンキロベース）を担っており、我が国の経済と人々の暮らしを支えるライフラインとして、また、災害時には救援物資輸送等公共的物流輸送機関として、極めて重要な産業ですので、将来に渡って、持続的かつ収益力のある産業であることが必要です。

そのためには、荷主・元請・下請事業者等、関係者間の適正な取引環境の改善と、運転者の長時間労働の抑制に向けた労働環境整備を進めることが重要です。

また、トラック運送業を含めたサービス業の生産性向上及び中小企業の取引条件の改善は、政府にとって、GDP600 兆円の達成に向けた重要な課題となっているところです。

昨年度に立ち上げました「トラック輸送における取引環境・労働時間改善鹿児島県地方協議会」におきましては、今年度と来年度で、トラック運転者の長時間労働抑制のための課題の抽出・分析、具体的な改善策の提示等を行うパイロット事業（実証実験）に取り組んでいるところですが、「働き方改革実現会議」、「生産性向上協議会」、「下請等中小企業の取引条件改善に関する関係府省庁等連絡会議」等々、政府全体の取り組みと連携しながら、引き続き、取引環境の改善と長時間労働の抑制に

向けた環境整備を進めてまいります。

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関（公益社団法人全日本トラック協会）が行っております貨物自動車運送事業安全性評価事業「G マーク制度」につきましては、利用者がより安全性の高いトラック運送事業者を選びやすくするとともに、事業者全体の安全性の向上に対する意識を高めることから、大変有意義な制度です。

平成 26 年度に創設されました安全性優良事業所表彰制度では、鹿児島運輸支局におきましても、公益社団法人鹿児島県トラック協会のご協力のもと、これまで 9 事業所に対して、支局長表彰を行うことができました。今後も、引き続き安全性優良事業所の表彰を実施していくとともに、各自治体等に対して、そうした優良認定事業者等の積極的活用をお願いしてまいります。

運送事業にとっての最大の責務は「輸送の安全」であることは言うまでもありません。

皆様方の日頃からの取組みにより、事業用トラックが第一当事者となる死亡事故件数は全国的には減少傾向にあります。残念ながら、昨年も重大事故が発生しておりますので、より一層の事故防止の取組みが求められているところです。

今後も、トラック業界の皆様と一緒に安全対策に取り組んでいくとともに、鹿児島県貨物自動車運送適正化事業実施機関と連携しながら、重大かつ悪質な法令違反の疑いのある事業者に対しては、厳格な監査と処分等の措置を講じることにより、安全・安心な輸送体制の実現に努めてまいります。

昨年 4 月に発生しました熊本地震を言うまでもなく、本県に暮らす者として、危機管理への対応は、常に意識しておかなければなりません。

一昨年は、口永良部島新岳の爆発、桜島の噴火警戒レベル引き上げ等の緊急事態が発生しました。昨年は、豪雨、台風等の被害が県土に大きな爪痕を残したところです。

活火山、台風、鳥インフルエンザ、南海トラフ地震など、緊急事態時における安全輸送等に関しましても、経営トップが強いリーダーシップを発揮され、運輸安全マネジメント等に取り組み、会社一丸となって安全管理体制を構築・改善されることを期待しております。

本年も、自動車交通行政に対する皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、トラック事業に携わっておられる皆様方が、本年もまた、大いに活躍され、社会の高い評価と広い支持を得て、一層の発展を遂げられますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



年頭の辞

鹿児島労働局長

江原 由明

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健康とご繁栄を心よりお祝い申し上げます。

また、公益社団法人鹿児島県トラック協会並びに会員の皆様には、交通労働災害の防止、安全衛生教育の徹底及び運転者等働く方々の労働条件の確保の推進など、年間を通じた幅広い活動に敬意を表します。

さて、鹿児島県の景気については、最終需要面をみると一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつあるようです。また、鹿児島県の雇用失業情勢についても、有効求人数が前年を上回り、有効求人倍率が25年1か月ぶりに1倍台となるなど、緩やかな改善傾向が続いているところです。

このような中、鹿児島労働局においては、総合労働行政機関としての役割を果たすべく、各種施策を展開しているところです。

第一に、ニッポン一億総活躍プランに基づき、「働き方改革」及び「女性活躍」の推進に尽力しております。「働き方改革」では、長時間労働の是正や年休の取得促進を進めるとともに、女性の活躍促進のため、仕事と家庭が両立できる社会の実現を目指して1月より改正施行されている「育児・介護休業法」及び「男女雇用機会均等法」の周知に取り組んでまいります

第二に、雇用の安定を図るために、各種の雇用対策に取り組んでまいります。

まず、雇用の安定を図るためには、公的職業訓練等の活用による正社員雇用拡大の取組や、高校・大学等の未就職卒業生への就職支援に取り組んでまいります。

また、主体的に雇用創造に取り組む地域等の雇用機会創出の推進、生涯現役社会の実現に向けて65歳を超えても希望者全員が働ける制度導入の促進、障害者雇用については能力と適性に応じた雇用の場に就職し、地

域で自立した生活を送ることができるような雇用対策に積極的に取り組んでまいります。

第三に、労働条件確保対策や労働安全衛生対策に取り組んでまいります。

働く者の権利を守るために、適法な労働条件の下で安心して働くことができるよう、貴協会及び鹿児島運輸支局とトラック輸送の取引環境や長時間労働改善に向けた協議会を開催していくとともに、長時間労働の削減や過重労働による健康障害防止、賃金不払い残業の解消等の労働時間管理の適正化等に向けた監督指導等の実施、最低賃金額の周知・徹底を積極的に推進していきます。また、最終年度となる第12次労働災害防止計画に基づく労働災害防止対策や健康確保・職業性疾病対策などの安全衛生対策及び迅速・適正な労災補償対策の推進等に取り組んでまいります。

なお、陸上貨物運送事業における労働災害をみると、交通事故は全体の1割程度であるのに対し、荷役作業中の墜落・転落災害が4割近く発生していることから、行政機関、貴協会を含めた業界団体及び労働災害防止団体との連携や協力関係を強化し、「交通労働災害防止のためのガイドライン」のほか、特に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」の周知・徹底を図ってまいります。

鹿児島労働局としては、新年においても、各種施策の実効ある推進のためには、関係団体との連携が必要不可欠であり、とりわけ貴協会とは交通労働災害防止への取り組みをはじめ、より一層の協力関係を維持、発展させていかなければならないと考えております。

年頭に当たり、この新しい年が皆様にとって飛躍の年となることを心より祈念し、新年のごあいさつといたします。



年頭の辞

鹿児島県警察本部交通部長

飯屋 浩治

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

鹿児島県トラック協会の皆様には、日頃から交通安全活動を始め、警察業務の全般にわたり深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故情勢は、発生件数、負傷者数ともに前年に比べ減少し、特に死者数については、昭和32年以降最少であった一昨年をさらに下回る数となりました。

一方、輸送事業用の車両が第一当事者となる死亡事故についても、減少しております。

これも皆様方を始めとする、関係各位の御尽力による賜であると改めて感謝する次第であります。

しかしながら、個々の交通事故に目を向けてみますと、交通事故死者数の6割以上を高齢者が占めていることや、高齢者が第一当事者となる交通死亡事故も全死亡事故の約3割を占めるなど、高齢者が関係する死亡事故が高い割合を占めたほか、いまだに飲酒運転等の悪質交通違反に起因する交通事故が発生するなど本県の交通情勢は、決して予断を許さない情勢にあります。

県警察としましては、皆様方をはじめ、関係機関・団体との連携を図りながら、県民の方々が安全で安心して暮らせる交通社会の実現に向けて、白バイ・パトカーによる街頭活動の強化、高齢運転者の安全対策の推進、安全で快適な交通環境の整備など各種交通事故抑止活動を強力に推進してまいり所存であります。

本年3月12日には道路交通法の改正により、準中型自動車が新設されることとなり、トラックドライバーの育成などの課題が山積されているところではありますが、経済活動の基盤となる貨物輸送業務の中核を担い、社会に大きく貢献されている皆様におかれましては、引き続き、自動車交通のプロとして、現在、推進中のドライブレコーダーの普及等、各種交通安全対策に御尽力いただきますとともに、警察行政に対しても御支援御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、鹿児島県トラック協会のますますの御繁栄と会員皆様方の御健勝を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶 [支部長・部会長]



鹿児島・種子屋久支部長 **末永 知広**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
鹿児島・種子屋久支部会員の皆様には、支部活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。
業界を取り巻く現状は依然として厳しい状況が続いておりますが、本年も会員相互の発展のために精一杯取り組んでいきたいと考えております。
これからも「安全第一」を心掛け、会員の皆様と共に安全な輸送に努めてまいりますので、引き続きよろしく願い申し上げます。
本年が会員の皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。



鹿児島南支部長 **逆井 望**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
鹿児島南支部の皆様方には、支部活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
昨年より支部長を仰せつかり、まだまだ十分な活動ができなかったと思っております。
ドライバー不足等諸問題と一緒に考えていける会にしたいと思います。
今年の十二支は「酉」です。酉のつく年は商売繁盛に繋がると考えられるそうです。
いろいろなアイデアを取り込んで新しい年に運送業界をますます飛躍させましょう。



薩摩南支部長 **芳田 明**

あけましておめでとうございます。
鹿児島県トラック協会薩摩南支部の会員の皆様方、昨年中は支部運営にご協力していただきまして誠にありがとうございました。
支部活動といっても決して満足してはおりませんが、1年間経過できたのも皆様のおかげでございます。
我々運輸業界を取りまく環境はかならずしも良好な状態ではありませんが「物流」は「社会のインフラ」と位置付けし支部会員の皆様とお互い切磋琢磨してこの難局を乗り切ろうではありませんか。
会員の皆様の今年一年幸多かれと祈念申し上げます。 <ご安全に!! >



薩摩中央支部長 **岩下 一光**

新年あけましておめでとうございます。
世界全体が自国の利益優先の政治決断を進め、各国間の約束も一瞬のうちに反故にされるような現在、どのような変化があるか想像がつかない年を迎えようとしています。
燃料の高騰は一段落しましたが、ドライバーの高齢化は進み、若い人材の人手不足は顕著です。このような情勢である今だからこそ、いろいろな変化に対応できるよう基本に立ち返り、少しでも明るい未来が想像できる企業となり得よう努力したいと思います。
本年も支部活動にご協力をお願い申し上げますと共に会員の皆様にとって良い一年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶 [支部長・部会長]



薩摩北支部長 菊池 寅峰

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

支部会員の皆様には、部会運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年の運輸業界は軽油価格の下落によるコスト減があったものの物流量の減収や人手不足等があり厳しい状況でした。今後は共同輸送やトレーラの大型化といった取組がさらに重要になると思います。

今年も厳しい状況下におかれませんが、業界にとって良い年であります様にご祈念申し上げます。今年も宜しくお願ひ申し上げます。



霧島支部長 岸田 美津志

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年度は世界各地でのテロ事件及び航空機事故、国内では相模原の大量殺人事件、各地で相次ぐ高齢者に因る重大事故と暗いニュースがありました。

一方、経済見通しとしては横ばい圏を脱し、緩やかに持ち直していくと予想されていますが、私ども業界としては輸送数量・営業収入・営業利益共に減少し、景況感は悪化傾向にあります。

今年こそは業界にとって良い年であります様に祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



大隅北支部長・木材部会長 脇 通吉

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

大隅北支部及び木材部会員の皆様方には支部・部会運営に積極的にご協力をお願い厚くお礼申し上げます。

さて、我々運送事業者の使命は、安全・安心・誠実な輸送であり、それが社会貢献につながります。今年には特に「安全」をモットーにGマークの取得推進など積極的に取り組んでまいります。

木材部会では、南九州四県合同木材輸送部会「鹿児島大会」を主催し、農学博士遠藤日雄氏による基調講演や鬼神太鼓（曾於市指定文化財）の披露など盛り沢山の大会となり、盛大に開催することができました。

これらの支部・部会活動は会員皆様のお力添えがあってこそ成り立つものです。実のある事業を推進していくためにも会員間の交流を密に有効な情報交換が図れるように支部長そして部会長として寄与していきたいと思ひます。会員の皆様方のご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。



大隅南支部長 福永 寿一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

支部会員の皆様には、日頃より支部運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

トラック運送業界においては、安全対策、労働力確保対策、燃料価格対策等多くの課題が山積しており、厳しい状況下ではありますが、支部活動の活性化に向け、支部会員の皆様のご支援、ご協力をいただき、支部活動を推進して参りたいと思ひます。

今年が皆様にとりまして良き年でありますようご祈念申し上げます。



環境部会長 末吉 晴海

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

部会員の方々には部会運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は熊本地震が発生し、被災された方々に対しましてお悔み申し上げます。被災地の一日も早い復興を願っております。また、労働力不足が更に深刻化し、ドライバーの確保等早急に取り組むべき課題が山積しており極めて厳しい状況です。

今年も厳しい状況が続くかもしれませんが我々の使命である「安全」を第一に前向きに部会員の皆様と協力しながら部会活動を進めて参りたいと思います。

今年が皆様にとりまして、良い年となりますよう祈念いたします。



港湾部会長 藤崎 里志

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

部会員の皆様には部会運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は燃料価格も安定していましたが今後値上がりが予想され、また人手不足による労働時間の問題など厳しい現状が続いております。そんな中でも法令遵守、事故防止を図り、安全な輸送サービスが提供できるよう一丸となって取り組みたいと思います。

最後に協会並びに会員の皆様のご発展をご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



飼料・畜産輸送部会部会長 山元 一正

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年11月韓国にて高病原性鳥インフルエンザ発生ほどなく出水市で採取された水からウイルス確認等、本病の発生リスクは極めて高い状況であると考えています。

本県並びに日本への本病ウイルスの侵入防止対策及び万一の発生時に備え、まん延防止対策に万全を期するよう会員の皆様のご協力を改めてお願い致します。

会員の皆様の益々のご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



重量部会長 野崎 義文

新年明けましておめでとうございます。

部会員の皆様には、日頃より部会運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は2年に1度の視察研修等も開催でき、さらに横のつながりが深まった1年だったと思いましたが、しかし、業界では人手不足等の多くの課題を山積した状態だったと思います。それらの問題を1つ1つ解決し本年も重量部会会員の皆様と共に、コンプライアンス遵守でお客様に満足頂けるサービスを心がけ社会的責任を果たしトラック運送事業の発展を目指していきたいと思っております。

今年が皆様にとりまして良い1年でありますようご祈念申しあげます。

新年の挨拶 [支部長・部会長]



食料品部会長 小川 正浩

新年あけましておめでとうございます。

昨年は部会員皆様方のご協力の中、遅滞なく部会活動を行うことができました。まことにありがとうございました。本年も引き続き、労働力確保・事故防止・各種法令遵守など、我々業界を取り巻く環境はより一層厳しさを増すことが予想されます。部会員一丸となつてこの難局に立ち向かい、今年一年より良い年になりますよう取り組んでまいり所存です。

今年も昨年同様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



セメント部会長 加藤 寿邦

新年明けましておめでとうございます。

部会員の皆様には、部会運営に日頃からご協力を賜り誠にありがとうございます。我々セメント業界においては、事故防止対策、労働力確保対策等々多くの課題が山積しておりますが、部会活動を通じ部会員の皆様と共に、「安全」を最優先とした輸送品質の向上に取り組んで参りたいと思います。

今年が皆様にとって良い年でありますようご祈念申し上げます。



タンク部会長 竹迫 勝

平成 29 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

部会の皆様には、日頃より部会運営にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。石油業界においては、メーカー統合の問題や、8 年ぶりの OPEC の減産などいろいろな問題等を抱えておりますが、本年も部会の皆様と共に安全第一、無事故で社会責任を果たして参りたいと思います。

今年 1 年が皆様にとって良い年であります様ご祈念申し上げます。



ダンプ部会長 川越 金藏

明けまして新年のおよろこびを申し上げます。

県トラック協会ダンプ部会員の皆様には業界発展のために御協力いただき厚くお礼申し上げます。全日本トラック協会でも国土交通省自動車局貨物課へ経営事項審査の件や後3件ほど国土交通省へ交渉しています。少しでも業界発展につながればと思っております。

2017 年度が皆様にとって良い年でありますよう願っております。



引越輸送部会長 加納 潤一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

引越輸送部会の皆様方には、部会活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。燃料につきましては、ある程度落ち着きを取り戻して参りましたが、人材不足・長時間労働等に関しては、一段と厳しくなっております。業界全体が一致団結して取り組んでいかなければならない課題となっております。

さて、引越輸送部会は、目前に3月・4月の需要期を迎えます。「あたりまえを、きちんと」をスローガンに、標準引越輸送約款を遵守し、万一のクレームに対する「責任と誠意」を持って対応いたします。更に、「引越優良認定事業所」の取得を推進し、引越安心マーク

を車両に貼付して、消費者への積極的PR活動やメディア等を活用したPRを推進してまいります。

会員の皆様の今年一年の企業のご発展を心よりご祈念申し上げます。



米穀部会長 山下 太一

新年あけましておめでとうございます。

2017年の新春を迎え、会員の皆様方には心からお喜び申し上げます。

さて、我々を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、法令の遵守と事故防止に努め、安全を最優先に社会的責任を果たしていきたいと考えております。

この難局を乗り越え、会員の皆様の益々のご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



青運会部会長 福元 幸介

新年あけましておめでとうございます。

我々青運会では、トラックの日のイベントの開催や、小学生を対象とした物流出前講座などに取り組み多くの方に運送業界を理解していただけたのではないかと思います。今後の我々の業界が発展していくことを願い青年部一同若手経営者として精一杯頑張って参りたいと思います。今後とも青年部のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年一年会員皆様の企業の益々のご発展をご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



セフティ会部会長 鳥部 敏雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、県ト協と共同にて「労働安全セミナー（メンタルヘルス）」を開催できました。また、チャリティーにて集まりました助け合い募金を交通遺児支援団体に寄付することができました。偏に会員みなさまのご厚情の賜物です。感謝申し上げます。本年も積極的な活動を推進して参りたいと思っております。より一層のご協力をお願いします。

力を併せ、業界の地位向上を目指しがんばりましょう。本年もよろしく申し上げます。

トラック運送事業者のための 人材確保セミナー

月日 平成28年12月5日(月)

場所 鹿児島県トラック研修センター

■目的

トラック運送業界では人材確保対策が喫急の課題であることから、女性ドライバー等の確保、定着、育成等の参考としていただき、輸送力確保に寄与していくことを目的に全日本トラック協会と共催で実施。

■講師

日本 PMI コンサルティング 株式会社
税理士・代表取締役社長 小坂 真弘 氏

■受講者数

35社 42名

■内容

- ①トラック運送業界における人材の状況
- ②トラックドライバーの採用・育成対策（若年、女性、高齢者等）
 - ・求人、採用、育成方法
 - ・社内体制の整備
 - ・協会の取り組み（インターンシップ登録サイト、助成金等）
- ③人材活用による生産性向上他



物流出前講座 (日置市立伊集院小学校)

月日 平成28年12月6日(火)

場所 日置市立伊集院小学校

■目的

国民生活並びに産業活動のライフラインを担うトラック運送事業の仕事内容を社会科の授業の中で紹介し、「トラック=怖い」のイメージの払拭、交通事故の防止、業界の理解向上を図るとともに将来運送業界を目指してもらおうこと

■受講者数

同校5年生 142名

■講座内容

物流をテーマに、青運会が主体となって今年度初めて開催しました。教室では、プロイラーを題材に鶏舎から食卓に並ぶまでの授業を行い、トラックの仕事内容を通じ物流の重要性を理解してもらいました。

また校庭では、トラックの仕組みや構造上の特性などを理解してもらうため、大型トラックを持ち込み、運転席からの死角体験、車両の説明（タイヤ数、燃料タンク、エアサス等）、荷台への乗車を体験してもらいました。



環境出前講座 (鹿児島市立玉江小学校)

月日 平成28年12月13日(火)

場所 鹿児島市立玉江小学校

■目的

県ト協が取り組んでいる「菜の花プロジェクト」の活動等を紹介するとともに、誰とでもすぐに取り組むことが可能な環境保全活動の広報・教育を行うこと。

■受講者数

同校6年生 157名

■講座内容

地球温暖化に関する説明と自分たちに出来る身近な環境保全活動について、プロジェクターを使い、映像を交えながらの講座を行いました。環境に関するクイズが出題されると子ども達は元気に回答していました。

また廃食油を精製したバイオディーゼル燃料で走る車両を持ち込み、排気ガスのおおいを感じる体験をしてもらいました。



受講した児童の感想

今まで知らなかった地球温暖化の問題や現在の地球、未来の地球が分かりました。未来の地球をよりよくするために一人一人が節約を心がければいいと思いました。もと地球を大切にするために自分ができることをもと調べて未来の地球をよりよくできればいいなと思いました。

私は、最初「地球温暖化」という言葉は知っていたけど、そのうろたくなるものだとあまり興味がありませんでした。けれど、環境出前講座で私達が大人になったこの地球の様子を見て、地球温暖化はすぐ近くにせま、ているものということを知ることができました。「地球温暖化」を減らすために、一人一人の行動が大切ということを知り、まずは身の回りの節電、節水に努めます。

事業用トラックドライバー研修テキストのご案内

全日本トラック協会では、トラック運送事業者が新たな指導・監督指針（国交省告示第1366号）に適切に対応できるよう、新たな教材として「事業用トラックドライバー研修テキスト」を作成しました。

また、このテキストは全ト協のホームページ（会員専用）での電子媒体（PDF）で配布するほか、日本貨物運送協同組合連合会（日貨協連）が書籍版を販売しますので、ドライバー教育等にご活用ください。

事業用トラックドライバー研修テキスト

～国土交通省の指導・監督指針に対応～

準中型免許の創設に伴い、トラックの初任運転者等について、運転者教育の強化を図るため、「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」（平成13年国土交通省告示第1366号）の一部が改正され、平成29年3月から施行されます。

この改正により、一般的な指導・監督の内容が一部追加され、さらに、初任運転者に対して15時間以上の指導が義務付けられるなど、新たな対応が求められます。

運転者への
指導・監督指針

遵守事項、安全知識

事業用トラックドライバーに求められる12項目の内容について、指導・監督を実施しなければなりません。

中堅・ベテラン
運転者の教育

継続的な指導・教育

中堅・ベテランドライバーの一層の安全意識高揚と資質向上のために、継続的、計画的な指導・教育が必要です。

初任運転者
の教育

プロドライバーの基本

若年ドライバーをはじめとする初任運転者に対しては、特別な指導・教育が必要です。

会員定価（全10巻ケース入り）5,400円（税込）



平成28年11月1日より
会員向け特別割引先行受付開始
（平成29年1月末終了）

全10巻 **3,500円** （税込）

100セット以上注文の場合、

全10巻 **3,240円** （税込）

お申込みは、日貨協連研修テキスト販売係までお申し付け下さい。
平成29年3月上旬販売予定

企画・制作: **JTA** 公益社団法人 **全日本トラック協会** 発行・販売: **NKKF** 日本貨物運送協同組合連合会

※「事業用トラックドライバー研修テキスト」(PDF版)は、全日本トラック協会のホームページ(会員専用)においても配布する予定です。※記載内容は予告なく変更する場合があります。

事業用トラックドライバー研修テキスト

制作：公益社団法人 全日本トラック協会

指導、監督指針
の内容を体系的
にまとめて解説

安全教育の
確立を
目指す

さし絵多用の
分かりやすく
読みやすい編集

3 ヒヤリ・ハットの活用

① ヒヤリ・ハットの収集と記録

◆事例を収集し記録する

ヒヤリ・ハットの体験をしたときに、その状況を記録しておくことが大切です。記録する主な内容は、次のとおりです。

- ①発生日時・天候
- ②発生場所
- ③発生状況
- ④発生状況の見取り図
- ⑤発生原因

ヒヤリ・ハット事例の記録については、あらかじめ一定の記録用紙を作成しておいて、それに記入していくのがよいでしょう（図14）。

ヒヤリ・ハット事例を記録することによって、自分の運転行動を振り返り、どこに問題があったかを考える機会にもなります。

また、記録が収集整理されれば、ドライバー同士がそれを見ることによって、どの場所にとどういう危険があるかを知ることができます。

図14 ヒヤリ・ハット事例記録用紙例

ヒヤリ・ハットの発生状況		ヒヤリ・ハットの発生場所	
発生日時	発生時刻	発生場所	発生状況
発生場所	発生状況	発生原因	発生結果
発生状況の見取り図			
【自動車】		【自動車】	

(独自の作成版)

ドライブレコーダの映像の活用

ドライブレコーダを導入している営業所の場合は、ドライブレコーダに記録された映像のなかから、ヒヤリ・ハットの場面を取り出して活用する方法もあります。

ドライブレコーダの映像は臨場感があり、自分が運転しているような気分で見ることが出来ます。



18

掲載内容(10分冊)

- ①トラックを運転する心構え
- ②トラック運送事業と関係法令
- ③ドライバーの日常業務と運行管理
- ④過労運転の防止と緊急時の対応
- ⑤トラックの構造と特性に合わせた運転
- ⑥トラクタとトレーラの構造と特性に合わせた運転
- ⑦貨物の正しい積載方法と労働災害の防止
- ⑧危険物輸送に関する基礎的事項
- ⑨危険の予測及び回避
- ⑩安全運転のための心身の健康管理

お問合せは、日貨協連テキスト販売係まで

Tel:03-3355-2031 Fax:03-3355-2037

ホームページアドレス <http://www.nikka-net.or.jp>

〒160-0004 東京都新宿区四谷3丁目2番5(全日本トラック総合会館9階)

整備管理者「選任後」研修のご案内

◆重要◆今年度から事前申込が必要です。

整備管理者に対する研修が下記の通り実施されます。整備管理者は、2年に一回の研修受講の義務がありますので必ず受講をお願いします。

鹿児島運輸支局へ選任届出をしている整備管理者が対象です。

開催日時	開催場所	受講対象	定員
平成 29 年 2 月 23 日 (木)	鹿児島市民文化ホール (鹿児島市与次郎 2 丁目 3 番 1 号)	全事業者	160 名

※鹿児島市民文化ホールで受講される場合は、駐車場料金 200 円がかかります。

※定員になり次第、締切とします。

■研修時間

13 時 30 分～ 17 時 00 分 (受付 13 時 00 分～)

■受講対象者

1. 平成 27 年度の整備管理者選任後研修終了以降、新たに選任された者
2. 平成 27 年度に受講しなかった者
3. 受講を希望する者

※整備主任者研修、自動車検査員研修の受講免除は昨年度より廃止されていますので、整備管理者に選任されている人は必ず受講ください。

■その他

1. 整備管理者手帳・研修受講証をご持参ください。
なお、お持ちでない人は、研修受講証を交付します。
2. 事前の申込が必要です。別紙申込書に必要事項ご記入の上、受講希望日の 1 週間前までに F A X (099-262-5500) ください。
3. テキスト代は、無料です。



国土交通省認定NASVAリスク管理(基礎)セミナーのご案内

独立行政法人自動車事故対策機構より、セミナーの案内がありました。「リスク管理(基礎)セミナー」は事故防止を担当される方を対象として、なぜなぜ分析を用いた再発防止のための事故分析手法をグループで実践しながらご理解頂く講義を行います。

- 1. 日 時** 『(国土交通省認定) NASVA リスク管理(基礎)セミナー』
平成 29 年 3 月 10 日(金) 13:30 ~ 17:00
- 2. 場 所** 鹿児島県住宅供給公社ビル 3階大会議室(鹿児島市新屋敷町 16 - 401)
- 3. 受講料** 5,100 円
- 4. 申込方法** インターネットからの予約となります。
(http://www.nasva.go.jp/fusegu/mng_schedule.html) よりご予約ください。
インターネット環境のない方は、(独)自動車事故対策機構鹿児島支所へご連絡下さい。
予約が確定したら、NASVA から電話で予約番号の連絡があります。
定員になり次第締切ります。

5. 認定セミナーの制度概要

①運輸安全マネジメント制度の浸透・定着に有効なセミナー

一定の基準を満たし運輸安全マネジメント制度の浸透・定着に有効であると国土交通省が認定したセミナーです。なお、国土交通省が認定するセミナーの種類は次のとおりです。

- [1] ガイドライン [2] リスク管理(基礎) [3] 内部監査(基礎)
- [4] リスク管理(上級) [5] 内部監査(上級) [6] その他

②受講のメリット(監査インセンティブ)

運送事業者の経営管理部門の要員が認定セミナーを受講し、かつ、受講内容を活用していることが国土交通省において確認された場合には、地方運輸局の長期未監査を理由とする一般監査の対象としないことができるとされています。

【お問合せ】

独立行政法人自動車事故対策機構鹿児島支所
〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16-401公社ビル420号
TEL:099-225-0782 FAX:099-225-0783

事業用自動車の運転者等の覚醒剤等の使用禁止徹底のお願い

今般、北海道のバス事業者の運転者と東京都のバスの元運転者が、それぞれ覚醒剤取締法違反の容疑で逮捕されるという事案が、平成 28 年 11 月 10 日に発生しました。

事件は現在警察の捜査が進められておりますが、覚醒剤を使用して運行された可能性もあり、これは輸送の安全を使命とする自動車運送事業者の信頼を大きく失墜させる決してあってはならない悪質なものであるとし、国土交通省から事業用自動車の運転者等の覚醒剤等の使用禁止徹底の周知依頼がありましたので、運行管理者を中心に次の事項の徹底に努めていただきますようお願いいたします。

～徹底事項～

1. 運転者のみならず、従業員に対して、外部の専門的機関も活用しつつ、覚醒剤等が身体に与える影響について十分理解させ、覚醒剤等の使用が輸送の安全をおびやかすことを再認識させるよう指導すること。
2. 点呼時のみならず、運転者の行動や健康状態の把握を徹底し、覚醒剤の使用、異常な感情の高ぶり、睡眠不足等の確認をすること。

～ETC2.0車載器購入促進助成の申請をご検討中の皆様へ～ 早期の申請にご協力をお願いします！

ETC2.0 車載器購入促進助成事業につきましては、ETC コーポレートカードを利用し、平成 27 年 12 月 18 日以降、新たに ETC2.0 車載器を購入し、事業用貨物自動車に導入した場合、全ト協助成額として車載器 1 台につき 4,000 円（各都道府県ト協助成額は、別途それぞれの協会が定める額）を助成しております。

本助成事業は、全ト協助成枠としましては全国で 50 万台分を設け、各会員事業所の所属している都道府県トラック協会を通じて申請の受付を実施しているところですが、仮に年度末に助成金の申請が集中してしまいますと、事務処理に大変時間がかかってしまうことや、多数の申請により助成枠をオーバーしてしまい助成が受けられなくなってしまうこと等が想定されます。

このため、本助成金の申請をご検討中の皆様におかれましては、早めに助成金の申請をしていただきますよう、本助成事業の円滑な運営にご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

下請取引の適正化について

経済産業省及び公正取引委員会では、親事業者等に対し下請取引の適正化等について要請しています。

具体的には、下請代金支払遅延等防止法の遵守、金融繁忙期の下請事業者の資金繰りへの配慮、適切な取引価格の決定、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保等を要請しています。

詳細につきましては、全ト協ホームページをご覧ください。

◆ 全日本トラック協会ホームページ

HOME > 会員の皆様へ > 燃料高騰対策・取引適正化 > 下請取引の適正化について

平成28年度

物流セミナー

参加
無料



2017年への視座 ～ 世界潮流と日本 ～

講師：寺島 実郎 氏

一般財団法人日本総合研究所 会長
多摩大学 学長

日時 平成29年1月24日（火）

14:00～16:00

場所 かごしま県民交流センター

県民ホール（1階）

申込み 別紙申込書にてお申込みください。

TEL・FAXにて事前にお申込みください。
（セミナー詳細は別紙申込書をご覧ください）

※駐車場【2時間まで無料】に限りがございますので、
出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

講師プロフィール

1947年 北海道生まれ

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程終了後、三井物産に入社。調査部・業務部を経て、ブルッキングス研究所に
出向。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研
究所所長、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授、三井
物産常務執行役員等を歴任。

現在は（一財）日本総合研究所会長、多摩大学学長、資源
エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委
員、国土交通省都市再構築戦略検討委員会委員など、政府
審議会委員も務める。

主なメディア出演は、TBS系列「サンデーモーニング」
BS11「寺島実郎の未来先見塾」、BS-TBS「月刊
寺島文庫」

著書は、「中東・エネルギー・地政学」（東洋経済）、「二十
世紀と格闘した先人たち」「若き日本の肖像」（新潮社）、
「脳のレッスン I-IV」（文藝春秋）など多数。

トラックは生活と経済のライフライン



公益社団法人
鹿児島県トラック協会

（お申込み・お問合せ）

〒891-0131

鹿児島市谷山港二丁目4番15号

TEL 099-261-1167 FAX 099-261-1169

<http://www.kta.jp>

公益社団法人鹿児島県トラック協会 平成28年度物流セミナー参加申込書

◆日 時：平成29年1月24日（火） 14：00～

◆場 所：かごしま県民交流センター 県民ホール（1階）

セミナープログラム		
13：00	開 場	
14：00	開 会	主催者あいさつ (公社)鹿児島県トラック協会 会長
14：10	第1部	鹿児島県トラック協会の取組みのご紹介
14：30	第2部	講演 演 題：2017年への視座 ～ 世界潮流と日本 ～ 講 師：寺島 実郎 氏 一般財団法人 日本総合研究所 会長 多摩大学 学長
16：00	閉 会	

会 社 名		参加者数
申込者氏名	*複数の場合は代表者の方をご記入ください	名
ご 連 絡 先	住所	
	TEL	

申込み締切り：1月17日（火）

【お申込み・お問合せ】

公益社団法人鹿児島県トラック協会
総務企画課

TEL:099-261-1167

FAX:099-261-1169

運行管理者試験対策事前講習会のご案内

平成28年度第2回運行管理者試験が3月5日(日)鹿児島国際大学にて実施されますが、県ト協では標記講習会を下記のとおり開催します。受講希望者は、「運行管理者試験対策事前講習会受講申込書」に必要事項をご記入の上お申し込みください。

近年の運行管理者試験は非常に難しくなっており、また、今回も前回の試験でも高い合格率へと導いていただいた嘉村氏を講師としてお招きしますので、今回試験を受ける方はぜひ本講習を受講されることをお勧めします。

前回の運行管理者試験における合格率

	鹿児島県 (全国)	事前講習会受講者
平成28年度第1回 (H28.8.28実施)	29.4% (30.2%)	47.4%

1. 開催日時・定員

	日時	場所	定員
①	平成29年2月25日(土) 9:00～17:00(受付8:30～)	鹿児島県トラック研修センター2階大講堂 鹿児島市谷山港2-4-15	100名

※定員になり次第、締切とします。

2. 講師 九州トラック交通共済協同組合 常務 嘉村公成氏
3. 受講料 2,000円(テキスト代含む) ※当日、受付でお支払ください。
(※鹿児島県トラック協会の非会員事業所は受講料が5,000円となります)
4. テキスト 講習会で使用するテキストは講師が監修したものを使用します。
※過去の出題問題も含めてより実践的な講習を予定しています。
5. 申込締切 2月17日(金)までにFAXでお申し込みください。
6. その他 ※駐車場は、鹿児島運輸支局構内(鹿児島市谷山港2丁目4番1号)になります。
講習会会場には駐車できませんのでご注意ください。
※昼食は各自ご準備ください。
※筆記用具はご持参ください。
※この講習は受験資格を得るための講習(基礎講習等)ではありません。

【お問合せ・お申込み】

公益社団法人鹿児島県トラック協会 適正化事業課

〒891-0131 鹿児島市谷山港2-4-15 TEL:099-210-9498 FAX:099-262-5500

運行管理者試験対策事前講習会 受講申込書

■事業者名: _____

■連絡先(TEL): _____

受講者氏名	受講者氏名

「大型車・特車通行許可制度等及びETC2.0を活用した賢い物流管理」講習会のご案内

大型車・特殊車両通行許可に関しては「道路の老朽化対策に向けた大型車両の適正化方針」が平成26年5月9日に発表され、それに基づき様々な改正が平成27年度中に実施されています。

また、昨年7月に国交省よりETC2.0を活用した賢い物流の発表があり、特車ゴールド制度による初めての特殊車両の自由走行・自動更新が本年1月より実施されています。

物流の効率化への効果が大いに期待されており下記のとおり講習会を開催します。
大型車両を保有している事業者は、特に受講されることをお勧めします。

- 1. 開催日時** 平成29年2月24日（金）13：30～16：00
- 2. 開催場所** 鹿児島県トラック研修センター 2階大講堂
（鹿児島市谷山港2丁目4-15）
- 3. 講習会内容** 「大型特殊車両に係る最近の法令・通達改正状況について」
「ETC2.0装着車への通行許可簡素化（特車ゴールド制度）について」
「ETC2.0と車両制限令違反者に対する割引制度の見直しについて」
- 4. 講師** （公社）全日本トラック協会 輸送事業部
- 5. 定員** 約100名 ※同一事業者より複数名受講可（定員になり次第締切ります。）
- 6. 参加申込方法** 下記申込書にご記入の上、2月17日（金）までにFAX（099-262-5500）にてお申込みください。
- 7. その他** ※駐車場は限りがありますので乗合せをお願いします。駐車できない場合は、鹿児島運輸支局に誘導する場合があります。

「大型車・特車通行許可制度等及びETC2.0を活用した賢い物流管理」講習会参加申込書

会社名		
参加者氏名		

【お問合せ】

公益社団法人鹿児島県トラック協会 適正化事業課

TEL:099-210-9498 FAX:099-262-5500

初任運転者研修のご案内

「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」に基づき、事業者は、初任運転者(*1)に対して特別な指導を行うことが定められています。

下記の日程で、初任運転者に対する研修会を開催しますので、受講を希望する場合は、受講申込書に必要事項をご記入いただき県ト協まで FAX (099-261-3113) にて申込みください。

受講修了された方には、受講証明書を交付します。

*1 初任運転者…【安全規則第3条第1項に基づき運転者として常時選任するために新たに雇い入れた者(当該貨物自動車運送事業者において初めてトラックに乗務する前3年間に他の一般貨物自動車運送事業者等によって運転者として常時選任されたことがある者を除く。】

記

1. 日時 平成29年1月13日(金)9:00～17:00(予定) (8時30分受付開始)
2. 場所 鹿児島県トラック研修センター 2階 大講堂
3. 講師 ドライビングアカデミー ONGA 担当者(予定)
南九州日野自動車株式会社
ブリヂストンタイヤジャパン株式会社
4. 研修内容 ◎トラックの安全な運転に関する基本的事項 等
◎日常点検の方法(トラックの構造上の特性)
◎タイヤの特性等(タイヤに関すること)
5. 対象者 初任運転者等
6. 受講料 無料
7. 研修受講証 当研修の最後まで受講された方へ受講証明書を交付します。
※遅刻、途中退席、早退された場合については、受講証明書を交付されませんので、ご注意ください。
8. 受講人数 定員40名程度
※なお、先着順で申込み受付し、定員になり次第締め切ります。
9. その他 昼食については、各自でご用意ください。
10. 申込方法 「受講申込書」をご記入の上、お申込みください。

その他、国土交通省告示に沿った内容の研修

「初任運転者研修」受講申込書

会社名 及び営業所				営業所
TEL	—	—	FAX	— —
住所	〒			
ふりがな 参加者名	(才)	事業用トラック 運転経歴	有 (年) な し
ふりがな 参加者名	(才)	事業用トラック 運転経歴	有 (年) な し

※ご記入いただいた情報は、本研修に関する事項以外には、使用いたしません。

申込ご担当者氏名

幹部・管理者研修のご案内

環境対策や交通安全対策などへの対応するため、企業の幹部・管理者は、厳しい時代環境の中での確かな判断能力を持って業務に取り組む必要があります。

そこで、幹部・管理者として必要な考え方や知識、スキルを習得し、幹部・管理者としてのあり方を学び、参加者の相互交流と相互啓発を通じて、スキルアップすることを目的とした研修会を下記のとおり開催します。

参加ご希望の方は、2月10日(金)までに下記受講申込書にてFAX(099-261-3113)でお申込みください。

- 日 時 平成 29 年 2 月 18 日(土) 9:00 ~ 16:30
※ 昼食はこちらで準備します。
- 場 所 鹿児島県トラック研修センター 2 階大講堂
鹿児島市谷山港 2 丁目 4 - 15
TEL 099-261-1167
FAX 099-261-3113
- 講 師 綾部 淳 氏 綾部総合教育研究所 所長 (予定)
- 研修内容
 - ・ 幹部管理者としての立場・心構え
 - ・ 幹部管理者としての問題の分析と解決能力
 - ・ 組織をまとめるリーダーシップ※ 全ての研修を受講した方に修了証を交付致します。

研修内容は変更になる場合があります。
- 人 員 20 名 (先着順)
- 研修受講料 会員事業者：1,000 円/人 非会員事業者：5,000 円/人
※ 研修受講料については、当日徴収させていただきます。
- 申込締切 2 月 10 日(金)

幹部・管理者研修に参加いたします。

年 月 日

(事業所名) _____

(役職・^{ふりがな}参加者氏名) _____

(連絡先電話番号) _____

担当：労働・環境課 (FAX 099-261-3113)

※ご記入いただいた個人情報は、本目的以外には使用いたしません。

平成28年度

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

**第40回近代化基金融資申込み
公募のしおり**

- ① 県ト協の公募は、先着順で受け付けます。
- ② 公募額を超える申込みは、全日本トラック協会に推薦します。融資推薦適否決定通知日も変わりますのでご注意ください。
- ③ 公募期間が年3回となりましたのでご注意ください。
(旧)5月、8月、10月、1月 → (新)5月、10月、1月

鹿児島県ト協 公募期間	第1期	第2期	第3期
融資推薦適否 決定通知日	終了	終了	29.1.10～20 1月末～ 2月10日
公募総枠	7億円		

県ト協公募額超過分

全日本トラック 協会 公募期間	終了	28年11月14日 ～ 29年1月31日
融資推薦適否 決定通知日		29年2月21日
公募額	15億円	15億円

融資対象者

公益社団法人鹿児島県トラック協会の会員及びその持株会社
(傘下の貨物自動車運送事業者に係る資金調達を行う者に限る)

近代化基金融資は、運輸事業振興助成補助金をもって基金を創設し、利子補給による長期低利の融資を推進して、トラック運送事業の近代化、合理化をはかるものです。

公益社団法人 鹿児島県トラック協会

一般融資に関する申込み

対 象 事 業	<p>1. トラックターミナル・配送センター等の物流施設の整備に要する資金</p> <p>①近代化・合理化のための事務機器(コンピュータ・ファクシミリ・複写機・MCA機器・ソフトウェア等)の設置購入に要する資金を含む。</p> <p>②設備の「補修・改修」に要する資金を含む。</p> <p>2. 「貨物自動車運送事業法で定められた施設(単なる管理事務棟を除く)」の整備に要する資金</p> <p>3. 荷役機械・車両等(中古車にあっては排出基準適合車)の購入(代替を含む)及び車両の改造に要する資金</p> <p>4. 低公害車及び省エネ関連機器導入に要する資金</p> <p>①低公害車とは、全ト協の導入促進助成事業対象となるCNG車及びハイブリッド車とする。</p> <p>②省エネ関連機器とは、全ト協の導入促進助成事業対象となるEMS及びドライブレコーダー等とする。</p> <p><u>(注1) 推薦融資の対象は、平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)において投資される資金であって、当該年度中に全てを完了すること。</u></p> <p><u>(注2) 公募開始前に支払いを行ったものであっても、平成28年4月1日以降に「金融機関からのつなぎ融資」又は「割賦手形」で必要資金を賄った場合で本融資の資金が当該つなぎ融資の一括返済及び当該割賦手形の一括組戻しに充当されるものについては、推薦の対象となる。(したがって、自己資金で支払済の場合は、推薦対象外となる。)</u></p>
---------	---

条 件	融 資 限 度	対象事業 1～3 1). 個別企業体 2,000万円 2). 共同体 5,000万円 対象事業 4 1). 個別企業体 1,500万円 2). 共同体 1,500万円
	貸 出 利 率	商工中金の所定利率による。
	貸 出 期 間	1年以上
	償 還 期 間	10年以内(据置期間6ヵ月以内)とし、法定耐用年数が10年を下回る設備は法定耐用年数以内とする。 ただし、対象事業4については、5年以内とする。
	償 還 方 法	月賦、隔月賦又は3ヵ月ごとの元金均等分割償還とする。
	担 保 ・ 保 証 人	商工中金の定めるところによる。
	再 融 資 の 制 限	既往の借入金が当初の約定に基づき正常な形で償還されており、融資限度額から既往の融資残高を控除した額の範囲内で申込みができる。
	そ の 他	①社保・労保に加入していること ②会費の未納がないこと ③直近の「事業報告書」、「実績報告書」の提出があること

利 子 補 給	<p>(公社)鹿児島県トラック協会は、次の補給率により取扱金融機関に対し利息を支払うときに利子補給を行うものとする。ただし、利子補給は所定の償還期間内に限る。</p> <p>対象事業1～3 ■個別企業体・共同体: 0.4%</p> <p>対象事業4 ■個別企業体・共同体: 0.6%</p> <p>※ただし、貸出利率が利子補給率を下回る場合は、その利率とします。</p>
---------	---

ポスト新長期規制適合車導入に関する申込み

対 象 事 業	ポスト新長期規制適合車の導入に要する資金 ◆平成28年4月1日～平成29年3月31日までに登録を完了すること。		
条 件	融 資 限 度	3,000万円	
	償 還 期 間	5年以内(据置期間6ヵ月以内)	
	再 融 資 の 制 限	会員は、当該年度に融資限度額を超える申込みはできない。 (ただし、一般融資を受けている場合でも申込みができる。)	
	そ の 他	①社保・労保に加入していること ②会費の未納がないこと ③直近の「事業報告書」、「実績報告書」の提出があること	
利 子 補 給	■個別企業体・共同体：0.6% ※ただし、貸出利率が利子補給率を下回る場合は、その利率とします。		
取 扱 金 融 機 関	商工組合中央金庫本・支店		
申 込 先	公益社団法人 鹿児島県トラック協会		
申 込 方 法	別に定める「融資推薦申込書」に見積書等を添付のうえ、公募期間内に協会に到着するよう申込む。		
融資推薦適否決定通知日	■1期 平成28年 6月 10日まで ■2期 平成28年11月10日まで ■3期 平成29年 2月 10日まで		
そ の 他	1. 応募総額が公募融資枠を上回る場合は、受付した申込を審査の上、全日本トラック協会に対し推薦します。 この場合、全日本トラック協会の近代化基金融資の応募総額がその公募額を上回る場合には、一部減額して決定されることがあります。		
	2. 公募融資枠については経営・近代化促進委員会の承認を得て流用できるものとする。		
	3. このしおりに定めのない事項は、(公社)鹿児島県トラック協会の「近代化基金運営要領」の定めるところによる。		

【参考】金利(利子補給後)

	平成28年3月	平成28年7月	平成28年8月
一般融資 (対象事業1～3)	0.55%	0.5%	0.55%
一般融資 (対象事業4)	0.35%	0.3%	0.35%
ポスト新長期	0.35%	0.3%	0.35%

申込み手続き等の手引き

申込書および添付書類

申込書類は、協会または地区研修センターに備えてあります。※会員ネットワークからもダウンロード出来ます。

図面・見積書など・・・

以下の書類を提出してください。

・建物等の場合：平面図、所在地図、見積書

・機械、車両の場合：見積書

商工中金あて借入申込み

- ・融資推薦適否決定通知書を受けた場合は、直ちに商工中金に借入申込みを行ってください。
- ・商工中金に対し出資している協同組合等の団体またはその構成員である必要があります。
この資格を備えてない方は協会にご相談ください。
- ・商工中金への提出書類等については、商工中金にお問合せください。

利子補給金額および支払い方法

利子補給金は、協会から商工中金に直接支払われます。

設備完成(購入)報告書

融資対象物件が完成(購入)した時は、速やかに「設備完成(購入)報告書」と不動産の場合は、契約書写と登記簿謄本、動産の場合は領収書などを添付して協会あて報告が必要となります。

**協会への決算書の提出は
不要です。**

【お問合せ】

〒891-0131 鹿児島市谷山港2-4-15

公益社団法人 鹿児島県トラック協会 経理課

TEL:099-261-1167 FAX:099-261-1169

受講料3分の2を助成します！

業界における経営管理者層の資質の更なる向上を図り、経営基盤の一層の強化を目指す観点から、会員事業者の経営者・管理者等を対象に、中小企業大学校において実施される経営戦略等の講座を受講された場合、受講料の3分の2を助成します。(県ト協3分の1、全ト協3分の1)

●制度の対象となる講座 【今年度の助成対象は、短期講座のみとなります。】

- (1) トップのための経営戦略、経営計画等に関する講座
- (2) 実践的な財務管理、利益計画等に関する講座
- (3) 管理者のための人材育成、労務管理等に関する講座
- (4) 女性リーダーの能力開発等に関する講座
- (5) 情報化、システム構築に関する講座
- (6) その他物流事業にかかわる講座

●手続きフロー

会員事業者	①別紙「受講申請通知書」、「誓約書」を提出	県ト協
	②受講承認通知	
	③講座の申込み及び受講料の納付。受講	中小企業大学校
	④受講終了後、「受講修了通知書」、「受講修了証書(写)」、「振込金受取書(写)」を添えて助成金申請	県ト協
	⑤助成金の支払い(受講料の3分の2)	

※ 1会員からの複数の申込みも受けませんが、**申込みが多い場合は人数を調整いたします。**(ただし、定款第5条(1)普通会員の「イ」にあたっては、1名とします。)

※ 「受講申請通知書」「誓約書」「受講修了通知書」は県ト協ホームページからもダウンロードできます。

【中小企業大学校人吉校講座スケジュール】

研修分野	コースNo.	研修テーマ	実施期間	期間	定員(名)	受講料(税込/円)
企業経営	21	女性管理者養成研修	H29. 1.11 ~ H29. 1.13	3日間	30	31,000
組織マネジメント	25	部下のほめ方・叱り方とモチベーション管理 【部下指導シリーズ③】	H29. 2. 7 ~ H29. 2. 9	3日間	30	31,000
人事組織	27	部下の戦力化を早めるOJTの進め方	H29. 2.21 ~ H29. 2.23	3日間	30	31,000
財務管理	36	1日でわかる会計情報活用 【宮崎教室】 ※校外研修	H29. 1.19	1日間	30	16,000
販売マーケティング	23	販売計画の考え方と進め方	H29. 1.24 ~ H29. 1.26	3日間	30	31,000
	26	新規顧客開拓の考え方と進め方 【営業管理シリーズ③】	H29. 2.14 ~ H29. 2.16	3日間	30	31,000

※ 申込締切日は原則、受講日の20日前までとなります。

※ **申込み状況については、事前にお問合せください。**

助成金制度の締め切りが迫りました!

平成 28 年度各種助成金（低公害車を除く）が **2月28日（火）** をもって受付終了となります（原則）。まだ報告書（請求書）を提出されていない会員事業者は、早めにご提出ください。不明な点につきましては、労働・環境課までご連絡ください。

【お問合せ】

公益社団法人 鹿児島県トラック協会 労働・環境課
TEL:099-261-1167 FAX:099-261-3113

新作貸出DVDのご案内

鹿児島県トラック協会では、ドライバー研修用ビデオ及び DVD の貸し出しを行っていますが、睡眠時無呼吸症候群（SAS）に関する DVD を新たに追加しましたので、お知らせします。

その他の教材と共にドライバーや運行管理者の安全教育等にご活用ください。

新作DVD

- ・国立研究開発法人科学技術振興機構作成

タイトル：「事業用運転者における 睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニングの重要性 - 安全向上と健康増進のために -」

内 容：SAS 説明（交通事故との関連・健康リスクなど）
SAS スクリーニング検査と治療までの流れ
SAS スクリーニング検査結果と分析
SAS 対策の事例紹介
SAS 対策の効果

安全装置等導入促進助成事業に係る 対象機器追加等のお知らせ

県ト協及び全ト協では標記助成事業を実施していますが、下記の通り助成対象機器が追加されましたのでお知らせします。なお、同一事業において国の補助金が交付される場合、県ト協・全ト協は助成金を交付しません。

後方視野確認支援装置追加機器

- ・(株)ジェットイノウエ

名称：7インチモニター/バックカメラセット

型式：GX-001

名称：7インチモニター/バックカメラセット センサー付き

型式：GX-002, GX-003

- ・ドリームメーカー(株)

名称：7インチ液晶モニター&バックカメラ

型式：MT070RAA

※上記対象型式には「MT070RAA（トレーラーセット）」を含む。

冬場の安全運転ポイント

出発前

気象や道路の情報確認！

オイラはとりあえず、早寝でえい！



出発直後

燃料を満タンに！ 冬は給油もお早めに！

スリップ事故
渋滞発生！



走行中（降雪前）

早めに装着！ 冬タイヤ、チェーン。



走行中（降雪時）

車間距離を十分にとり、 心と時間にゆとりを持って！



凍結しやすい場所

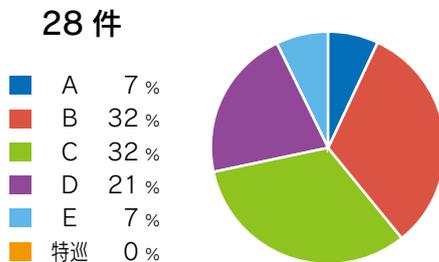


積雪、凍結路の注意ポイント

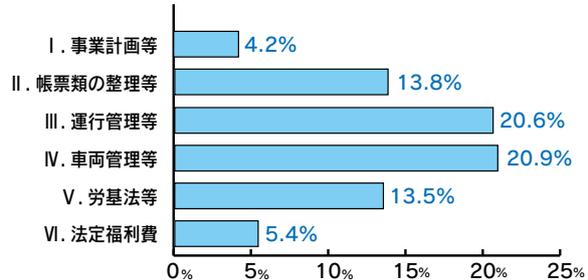
- 車間距離は3倍以上にとる
(通常より停止距離がのびる)
- 普段より合図は早めに行う
(周囲の車や人に知らせる)
- 「急発進・急加速」「急ハンドル」「急ブレーキ」
は厳禁(発進は、やんわり、ゆっくりが原則)
- 「轍(わだち)」に逆らわない(轍に沿って走行)
- 交差点では優先意識を持たない
(凍結で一時的に停止できない車がいる)

平成28年(11月)巡回指導結果

巡回指導評価別結果 (平成28年11月)



指導区分別(否)比率 (平成28年11月)



巡回指導結果では、B評価(適の割合:80%以上)及びC評価(適の割合:70%以上)が32%でした。指導評価区分では「**Ⅲ. 運行管理等**」が20.6%、「**Ⅳ. 車両管理等**」が20.9%の指摘となっております。**初任診断の未受診、整備管理者研修の未受講**について指摘が多くなっております。

貨物自動車運送事業の適正な業務運営及び法令遵守の徹底について

今般、トラック事業者の運転者が業務中に駐車違反し、身代わりで別人を出頭させ、当該トラック事業者の社員ら6名が犯人隠避または犯人隠避教唆容疑で逮捕されるという事案が発生しました。トラック事業の適正な運営について、交通違反の身代わり行為が犯罪であることを認識し、適切な業務運営及び法令遵守、特に運転者に対する適切な指導及び監督を含む運行管理について改めて徹底するようお願いします。

安全性評価事業(Gマーク)の申請までのスケジュール

安全性評価事業(Gマーク)は、事業開始後3年を経過し、配置車両が5両以上の事業所(営業所)であれば、申請が可能です。

※過去に虚偽申請、認定ステッカーの不正使用等があれば申請できない場合もあります。

安全性優良事業所の認定要件

下記の(1)~(4)の要件を満たす事業所を安全性優良事業所として認定いたします。

- (1) 評価項目(100点満点)の評価点数の合計点が80点以上であること
- (2) 各評価項目において下記の基準点数を満たしていること
 - ① 安全に対する法令遵守状況(配点40点:基準点数32点)
巡回指導結果、運輸安全マネジメントの取組状況
 - ② 事故や違反の状況(配点40点:基準点数21点)
重大事故、行政処分の状況
 - ③ 安全に対する取り組みの積極性(配点20点:基準点数12点)
安全対策会議の実施、運転者の教育などの取組状況
- (2) 法に基づく認可申請、届出、報告事項が適正になされていること
- (3) 社会保険等の加入が適正になされていること

申請の受付期間は、平成29年7月1日~14日の2週間です。(予定)

評価項目ごと対象期間は、次の通りです。(予定)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ① 安全に対する法令遵守状況 | H28/7/1 ~ H29/10 末 |
| ② 事故や違反の状況 | H26/12/1 ~ H29/11/30 まで |
| ③ 安全に対する取り組みの積極性 | ~ H29/7/1 まで |

その他ご不明な点等ありましたら、トラック協会適正化事業課までお気軽にご連絡ください。
(公社)鹿児島県トラック協会 適正化事業課: TEL099 - 210 - 9498

平成 28 年度安全性優良事業所

新規23事業所・更新82事業所が認定

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関である公益社団法人全日本トラック協会は、トラック運送事業者の交通安全対策などへの事業所単位での取り組みを評価し、一定の基準をクリアした事業所を認定する「平成 28 年度貨物自動車運送事業安全性評価事業」(G マーク) の評価を決定し、申請事業所 9,316 事業所のうち、9,033 事業所を認定しました。

鹿児島県内では、新たに認定された事業所が 23 事業所、初回更新が 16 事業所、2 回目更新が 12 事業所、3 回目更新が 9 事業所、4 回目更新が 45 事業所の合計 105 事業所認定されました。今回の認定で鹿児島県内の安全性優良事業所は、260 事業所となりました。

新規：23 社 (有効期間：平成 29 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

(有)ダイイチエクスプレス 本社営業所	ヤマト運輸(株) 始良支店
(株)東亜運輸 本社営業所	ヤマト運輸(株) 南川内支店
霧島運輸倉庫(株) 本社営業所	(株)日之出サービス 本社営業所
帝国倉庫運輸(株) 運輸部営業所	高千穂倉庫運輸(株) 加治木営業所
(株)西川海陸輸送 鹿児島営業所	(有)始良物流 本社営業所
南九州福山通運(株) 川内営業所	佐川急便(株) 鹿児島営業所
(有)福満運輸 本社営業所	(株)らくのう運輸 鹿児島第二営業所
(有)小野興産 本社営業所	(有)横手重機 本社営業所
日本貨物(株) 本社営業所	(株)シンクラン 加治木営業所
(株)伊藤運送 本社営業所	中村運送(有) 本社営業所
三九運輸(株) 日置営業所	九州航空(株) 鹿児島支店
志布志貨物自動車業企業組合 本社営業所	

更新 (初回)：16 社 (有効期間：平成 29 年 1 月 1 日～平成 31 年 12 月 31 日)

(株)南栄運輸 本社営業所	高千穂倉庫運輸(株) 鹿児島支店七ツ島営業所
(株)九州デイリーサービス 鹿児島営業所	(株)鹿児島急送 南九州営業所
九州安芸重機運輸(株) 鹿児島支店	安全産業(株) J Dセンター
(株)博運社 鹿児島営業所	南九州福山通運(株) 鹿屋営業所
(株)本田運送 本社営業所	(株)昭和貨物 錦江営業所
しみず運送(株) 鹿児島支店	(株)ロジテム九州 鹿児島営業所
(株)昭和貨物 大峯営業所	鹿児島牧迫運輸(株) 始良営業所
九州西濃運輸(株) 川内営業所	(株)ヤクシン運輸 鹿児島営業所

更新 (2 回目)：12 社 (有効期間：平成 29 年 1 月 1 日～平成 32 年 12 月 31 日)

(株)エルス 鹿児島支店	日本郵便(株) 川内郵便局
(有)日置運送 本社営業所	トールエクスプレスジャパン(株) 始良支店
九州西濃運輸(株) 加治木支店	(株)宮崎ジャパンエクスプレス 鹿児島支店
日本郵便(株) 鹿児島中央郵便局	(株)野崎クレーン 本社営業所
日本郵便(株) 加治木郵便局	出水運輸センター(株) 鹿児島営業所
日本アルコール物流(株) 出水営業所	牧迫運輸(株) 本社営業所

更新 (3 回目)：9 社 (有効期間：平成 29 年 1 月 1 日～平成 32 年 12 月 31 日)

(株)松下運輸 本社営業所	(株)JA物流かごしま 本社営業所
鹿児島荷役海陸運輸(株) 志布志飼料事業所	(株)らくのう運輸 鹿児島営業所
鹿児島荷役海陸運輸(株) 新栄事業所	(株)新開トランスポートシステムズ 鹿児島営業所
マルイ運輸(株) 本店営業所	新日本運送(有) 隼人営業所
南国輸送(株) セメント事業所	

更新（4回目）：45社（有効期間：平成29年1月1日～平成32年12月31日）

セイコー運輸(株) 本社営業所	日本通運(株) 鹿児島支店種子島営業所
ヤマト運輸(株) 鹿児島ベイサイド支店	日本通運(株) 鹿児島支店鹿屋営業所
ヤマト運輸(株) 川内支店	日本通運(株) 鹿児島支店奄美大島営業所
ヤマト運輸(株) 谷山支店	日本通運(株) 川内支店出水営業所
ヤマト運輸(株) 出水支店	ヤマト運輸(株) 南さつま支店
ヤマト運輸(株) 阿久根支店	ヤマト運輸(株) 吹上センター
ヤマト運輸(株) 伊集院支店	ヤマト運輸(株) 枕崎支店
ヤマト運輸(株) 国分支店	ヤマト運輸(株) 宮之城支店
ヤマト運輸(株) 中山支店	ヤマト運輸(株) 大口センター
中越物産(株) 九州流通事業所	ヤマト運輸(株) 横川支店
ヤマト運輸(株) 薩摩吉野支店	福岡航空燃料輸送(株) 鹿児島営業所
日本通運(株) 福岡支店福岡警送事業所鹿児島警送事業所	㈱橋口運輸 本社営業所
日本通運(株) 川内支店	ヤマト運輸(株) 指宿支店
ヤマト運輸(株) 串木野支店	ヤマト運輸(株) 鹿児島主管支店
ヤマト運輸(株) 田上支店	ヤマト運輸(株) 種子島支店
日本通運(株) 鹿児島支店国分営業所	ヤマト運輸(株) 瀬戸内センター
日本通運(株) 鹿児島支店薩摩大口営業所	ヤマト運輸(株) 大隅支店
ヤマト運輸(株) 隼人支店	ヤマト運輸(株) 志布志支店
ヤマト運輸(株) 喜入支店	ヤマト運輸(株) 末吉センター
ヤマト運輸(株) 根占センター	日本通運(株) 鹿児島航空支店
ヤマト運輸(株) 肝属支店	太陽運輸倉庫(株) 本社営業所
ヤマト運輸(株) 鹿屋旭原センター	南九州センコー(株) 鹿児島営業所
ヤマト運輸(株) 伊敷支店	

平成28年度新規取得事業所紹介

(株)伊藤運送 本社営業所 担当者：塩水 様

○Gマーク取得を目指したきっかけは？

社会的に安全性が求められている中で、会社として安全力を高める事を考えた時に、Gマークが一番最適だと思い、取得を目指しました。

○取得する上で苦労したことは？

取得を目指す中で、自社では「出来ている」と思っていたことが、実際は出来ていなかったことに気付き、又、改めて安全性の在り方を考えさせられました。

○Gマークを取得して今後の展望は？

Gマークを取得したことを会社全体で認識し、安全力を高める努力を継続して行っていきます。



Gマークの取得・更新については、適正化事業課までお気軽にご相談ください。

支部・部会だより

支部・部会開催状況

支部

月 日	行事名	場 所
12月3日(土)	平成 28 年度大隅南支部労働安全セミナー	さつき苑 (鹿屋市)
12月6日(火)	平成 28 年度第 3 回霧島支部役員会	始良地区研修センター (始良市)
12月6日(火)	トラック霧島分会定例会	まる金 (霧島市)
12月7日(水)	平成 28 年度第 3 回鹿児島・種子屋久支部役員会	南洲館 (鹿児島市)
12月9日(金)	平成 28 年度第 3 回薩摩中央支部役員会	一十 (薩摩川内市)
12月10日(土)	トラック北部会定例会	いちにいさん (鹿児島市)
12月16日(金)	鹿児島県トラック輸送鹿児島南栄会役員会	こんぴら丸 (鹿児島市)

部 会

月 日	行事名	場 所
12月6日(火)	平成 28 年度第 2 回重量部会定例会	南洲館 (鹿児島市)
12月8日(木)	平成 28 年度第 2 回引越輸送部会定例会	ホテル・レクストン 鹿児島 (鹿児島市)
12月10日(土)	平成 28 年度第 2 回木材部会定例会	ホテル・レクストン 鹿児島 (鹿児島市)
12月13日(火)	平成 28 年度第 2 回環境部会定例会	まえた (鹿児島市)

会員の声

平成28年度大隅南支部労働安全セミナー

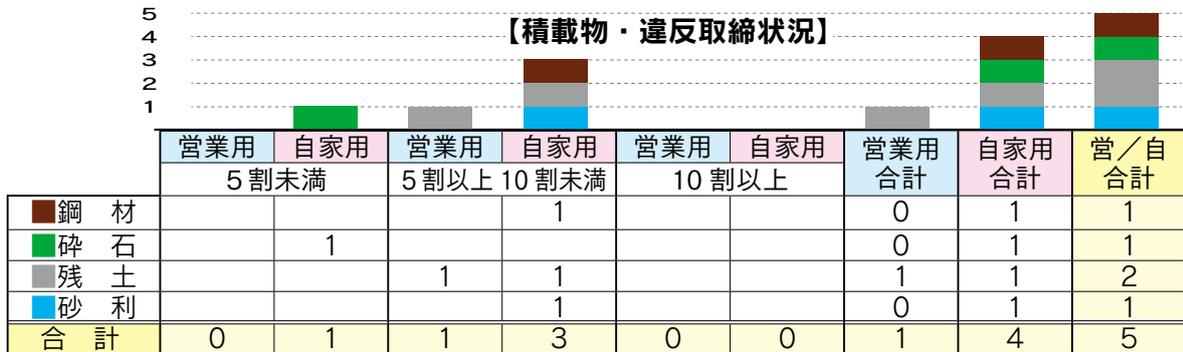
鹿屋労働基準監督署から講師を招いて労働災害防止について受講しました。労働災害への意識がさらに高まり、良い講習でした。

平成 28 年度大隅南支部労働安全セミナー



過積載違反状況

平成28年11月分
資料:鹿児島県警察本部



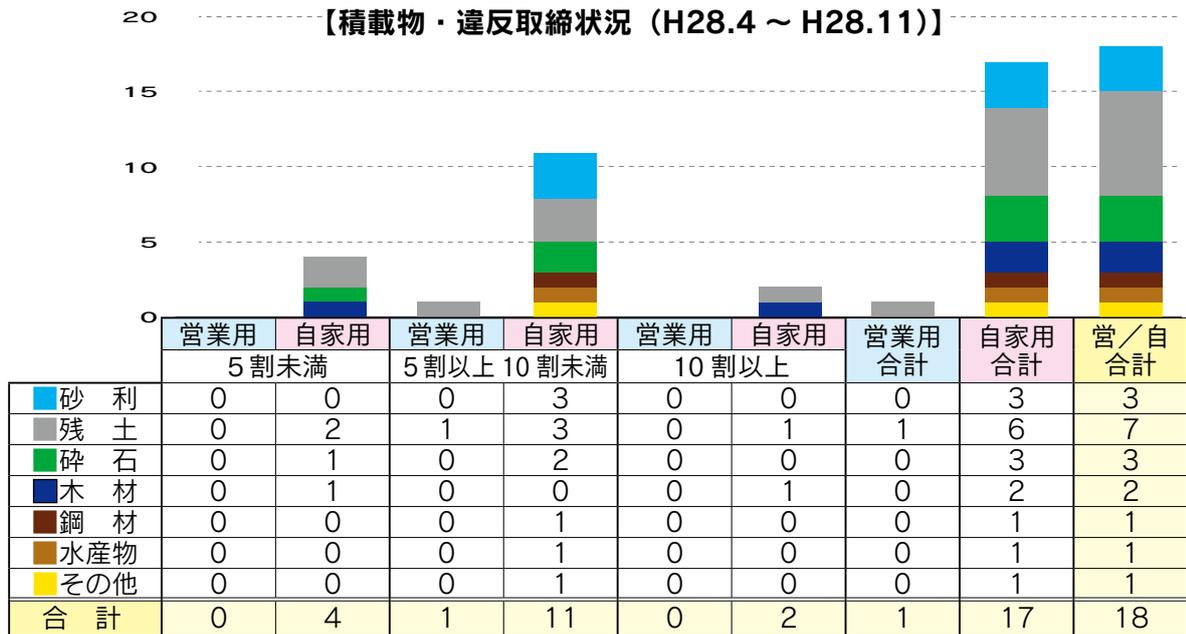
4件の違反がありました。(営業用1件、自家用3件)

また、通行指示書※が5件交付されております。

※通行指示書交付とは、違反現場から目的地までの通行方法について指示をした場合。

過積載取締り状況(件数)

年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
H27	10	6	3	1	2	1	1	2	2	0	1	0	28
H28	5	1	2	1	3	1	0	5					18



積載物としては、残土・砂利・砕石の違反が多く、業種では建設業が12件となっています。

鹿児島県トラック協会に寄せられた主な苦情内容 (平成28年11月)

- 近所の空き地に毎日違法駐車するトレーラがいる。注意、指導をお願いしたい。
- 高速道路を異常な速度で走行しているトラックがいる。指導をお願いしたい。

鹿児島県内における交通事故の発生状況

(平成28年11月末 資料:鹿児島県警察本部)

県内の交通事故状況

	発生件数	死者数	傷者数
平成28年	6,775	55	8,019
平成27年	7,248	71	8,621
増減	-473	-16	-602

営業用貨物自動車の交通事故状況

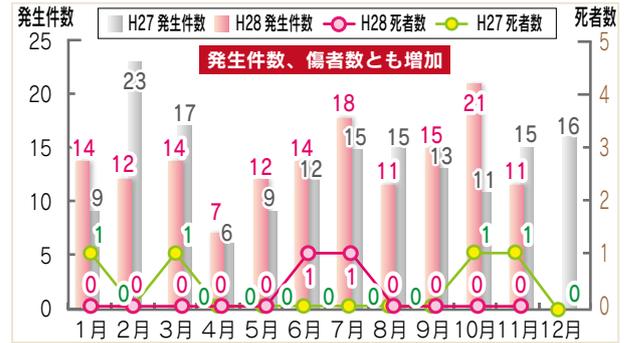
	発生件数	死者数	傷者数
平成28年	149	2	178
平成27年	145	4	174
増減	+4	-2	+4



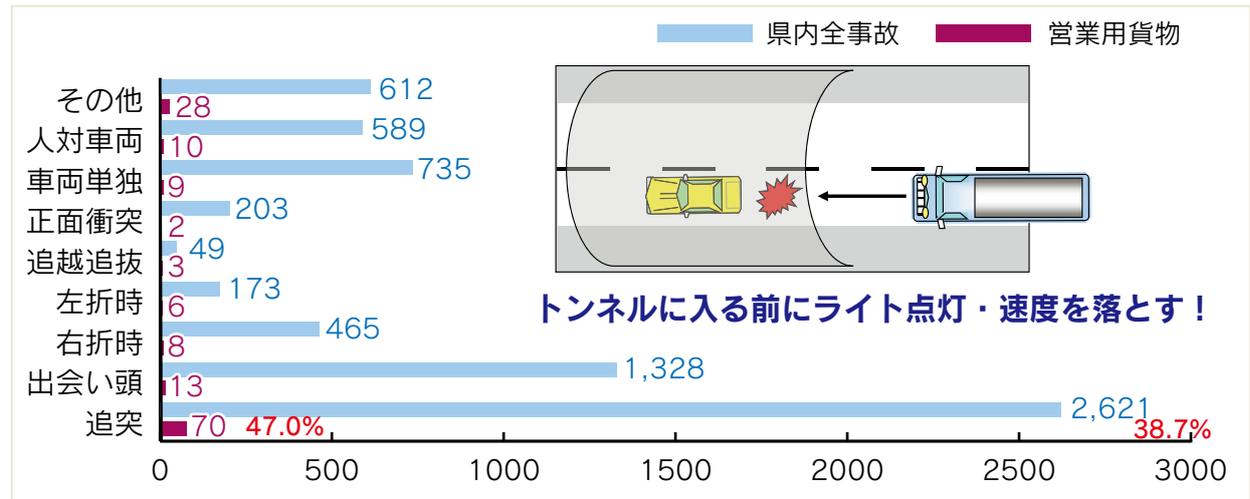
県内全交通事故月別状況



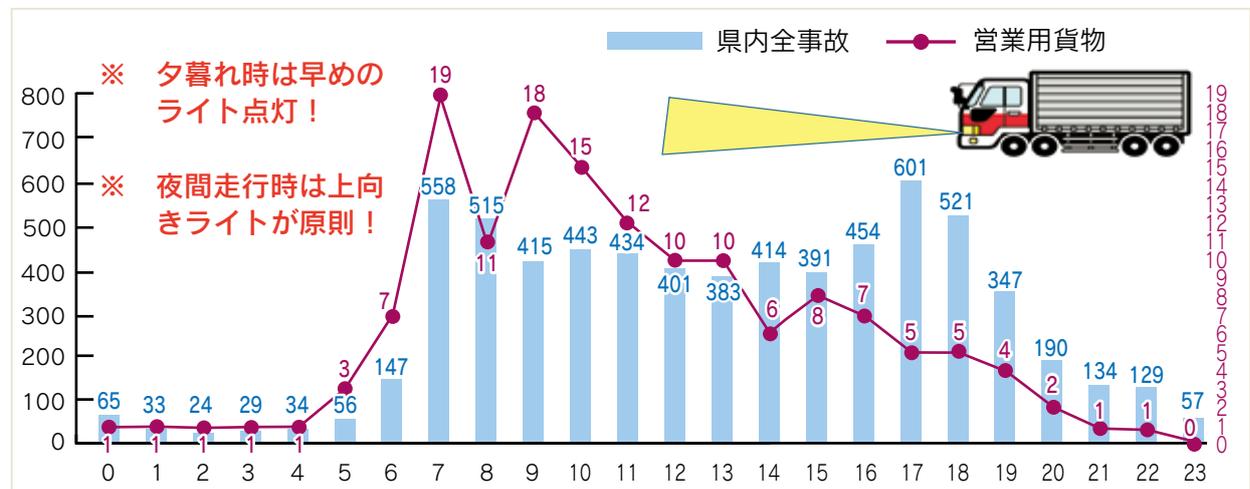
営業用貨物自動車月別発生状況



事故形態別(平成28年11月末現在)



時間別発生状況(平成28年11月末現在)



軽油価格調査報告

(平成28年10月分 資料:全日本トラック協会)

●単純集計表

地区:九州/県(沖縄除):全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
	84.91	76.06	81.88

●元売別集計表

地区:九州/県(沖縄除):全県

元売名	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
J X 日 鉱 日 石	83.82	75.05	83.22
出 光	84.10	74.98	82.56
昭 和 シ ェ ル	89.01	75.05	83.02
エクソンモービル		74.96	75.70
キ グ ナ ス			
コ ス モ	83.00	75.90	78.05
そ の 他	90.34	78.63	83.00

●月間購入量別集計表

地区:九州/県(沖縄除):全県

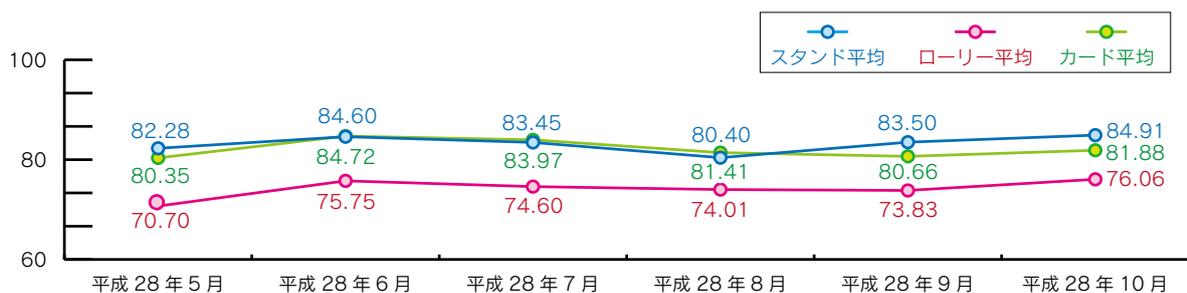
月額購入量	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30キロリットル未満	84.81	75.83	81.64
30~50キロリットル未満	86.64	78.49	79.70
50~100キロリットル未満		74.38	87.50
100キロリットル以上		73.67	

●支払期限別集計表

地区:九州/県(沖縄除):全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30日未満	87.12	81.17	77.40
30~60日未満	83.40	74.98	82.03
60日以上	88.45	75.00	85.36

●軽油価格推移表



※上記価格には消費税が含まれておりません。

協会の動き

- ◆ 12月1日(木)・全ト協第168回理事会
 - ・全国トラック協会会長会議
 - ・全日本トラック事業政治連盟懇親会
 - ・適正化事業幹事会
 - ・犯罪被害者支援フォーラム 2016in かごしま
- ◆ 12月2日(金)・第7回正副会長会
 - ・第4回理事会
- ◆ 12月3日(土)・大隅南支部労働安全セミナー
- ◆ 12月5日(月)・人材確保セミナー
- ◆ 12月6日(火)・物流出前授業(日置市立伊集院小学校)
 - ・第3回霧島支部役員会
 - ・県交通安全母の会「第37回交通安全母の会鹿児島県大会」
 - ・「新幹線物流に関する調査研究」に係るヒアリング調査
 - ・第2回重量部会定例会
- ◆ 12月7日(水)・第3回鹿児島・種子屋久支部役員会
- ◆ 12月8日(木)・南九州5県トラック協会事務局長及び担当者会議(～9日)
 - ・第2回引越輸送部会定例会
- ◆ 12月9日(金)・新年賀詞交歓会受付要領打合せ会議
 - ・第3回薩摩中央支部役員会
- ◆ 12月10日(土)・第2回木材部会定例会
- ◆ 12月13日(火)・年末年始輸送安全総点検に関するトラックターミナル総点検
 - ・環境出前講座(鹿児島市立玉江小学校)
 - ・第2回環境部会定例会
- ◆ 12月15日(木)・鹿児島・宮崎・沖縄県適正化事業指導員合同研修会(～16日)
 - ・中央会青年部会青年部講習会
- ◆ 12月19日(月)・全ト協タンクトラック・高圧ガス部会「各県部会長会議」
 - ・交通労働災害防止対策関係機関連絡協議会
- ◆ 12月20日(火)・第2回桜島火山爆発総合防災訓練図上訓練
- ◆ 12月21日(水)・トラックの森・契約解除締結
- ◆ 12月22日(木)・第3回桜島火山爆発総合防災訓練参加機関打ち合わせ会
- ◆ 12月24日(土)・第3回港湾部会定例会
- ◆ 12月26日(月)・平成29年度鹿児島地区出張特別試験に係る打合せ会議
- ◆ 12月28日(水)・仕事納め

協会の行事予定

- ◆ 1月4日(水)・仕事始め式
- ◆ 1月5日(木)・鹿児島県中小企業団体中央会年始会
- ◆ 1月10日(火)・鹿児島県運輸関係新年賀詞交歓会
- ◆ 1月12日(木)・全国専務理事業務連絡会議(～13日)
 - ◆ 桜島火山爆発総合防災訓練
- ◆ 1月13日(金)・初任運転者研修
 - ◆ 薩摩南支部労働安全セミナー及び報告会
- ◆ 1月14日(土)・環境出前講座(南さつま市立加世田小学校)
 - ◆ 運行管理者等一般講習
- ◆ 1月16日(月)・運行管理者等基礎講習(～18日)
 - ◆ 整備管理者「選任前」研修
 - ◆ 叙勲・褒章受章祝賀会(旭日双光章、黄綬褒章)
- ◆ 1月20日(金)・第5回薩摩北支部役員会
- ◆ 1月23日(月)・整備管理者「選任後」研修(トラック)
 - ◆ 鹿児島県経営者協会新年例会
- ◆ 1月24日(火)・全ト協新年賀詞交歓会
 - ◆ 物流セミナー
- ◆ 1月25日(水)・第53回適正化事業業務検討委員会(～26日)
 - ◆ 第3回桜島火山爆発総合防災訓練終了後意見交換会
 - ◆ 「2016 セーフティ・チャレンジ180」交通安全コンテスト抽選会
- ◆ 1月26日(木)・運行管理者試験事務担当者研修会(～27日)
- ◆ 1月27日(金)・第3回薩摩中央支部定例会及び荷主セミナー
- ◆ 1月30日(月)・第5回総務委員会

鹿児島県トラック協会年間行事予定表

行事予定だより（平成 29 年）

平成 29 年		
1月	13日(金)	初任運転者研修
	14日(土)	運行管理者等一般講習【鹿児島市】（おんが自動車学校）
	23日(月)	整備管理者「選任後」研修【鹿児島市】（鹿児島運輸支局）
	24日(火)	平成 28 年度物流セミナー
2月	18日(土)	幹部・管理者研修
	23日(木)	整備管理者「選任後」研修【鹿児島市】（鹿児島運輸支局）
	24日(金)	「大型車・特車通行許可制度等及びETC2.0を活用した賢い物流管理」講習会
	25日(土)	運行管理者試験対策事前講習会
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		



平成28年度安全衛生標語入選作品が決定しました！

平成 28 年労働安全衛生標語につきましては、作品の募集に会員の皆様から多数のご応募をいただき、感謝申し上げます。
下記のとおり入賞作品 6 点(入賞 3 名、佳作 3 名)が決定しましたので、ご紹介します。

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 「平成 28 年度 安全衛生標語」

入選作品

応募総数：4,976

【荷役部門】

【入賞】 危険箇所 みんなで共有 話し合い すぐに改善 安全職場
大阪府 梅田運輸倉庫株式会社 川合 純一

【佳作】 声を出して指差し呼称 小さな指から大きな安全
新潟県 日新運輸株式会社 小川 務



【交通部門】

【入賞】 しないさせない過労運転 荷主と協力 ゆどりの運行
福島県 郡山運送株式会社 福島営業所 小濱 誠

【佳作】 危険箇所 社員みんなで話し合う あの場所 この場所 その付近
福島県 日本郵便輸送株式会社 郡山営業所 大原 哲也



【健康部門】

【入賞】 毎日の心と身体健康管理 みんなで進めるメンタルヘルス
静岡県 日本梱包運輸倉庫株式会社 浜松営業所 加藤 里子

【佳作】 みんなで気遣う仲間のストレス 職場でフォロー活き活き職場
福島県 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 福島県支部 五十嵐 雄二



平成28年度年末年始ゼロ災鹿児島推進運動の期間です！

鹿児島労働局においては、年末年始は労働災害防止のための特別な配慮が必要となる場面が増えることから、平成28年12月15日～平成29年1月15日までの間、年末年始ゼロ災鹿児島推進運動を展開することとなりました。

各事業場でも、労働者が年末年始を無災害で過ごせるよう、自主的かつ積極的な安全管理活動の展開に努めましょう。

無災害で締めよう 行く年を 無事故を誓おう 来る年に
平成28年度 年末年始ゼロ災鹿児島推進運動
— H28.12.15～H29.1.15 —

年末年始は、職場において何かと繁忙な時期であり、普段の作業や生活のリズムが変わりやすいことに加え、職場が一斉に操業を停止・開始する際や大掃除の際等に通常では行わない非正常作業等が多くなる時期となることから、鹿児島労働局では、この年末年始の時期をとらえて、職場で働くすべての人々が年末年始を無災害で過ごせるよう、「平成28年度 年末年始ゼロ災鹿児島推進運動」を展開します。

県内の労働災害による休業4日以上死傷者数が高水準で推移しています(グラフ1)

○平成28年10月末上半期労働災害による被災者数(別表)

死亡者数：13人(前年同期と同数)

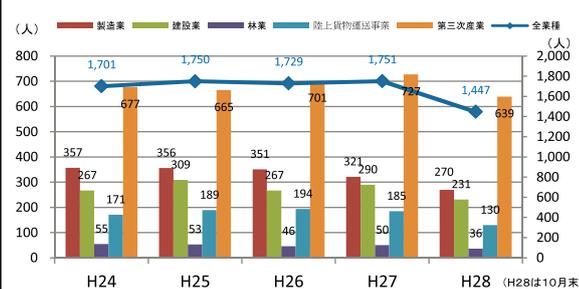
死傷者数：1,448人(前年同期より171人・13.4%増加)

○転倒災害と墜落・転落災害で、全体の4割以上を占める(グラフ2)

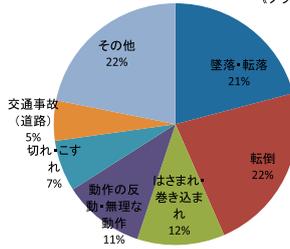
《別表》 県内の労働災害による休業4日以上死傷者数(前年比較) (労働者死傷病報告より)

業種	平成27年10月末(人)	平成28年10月末(人)	増減率
製造業	233	270	+15.9%
食料品製造業	140	163	+16.4%
建設業	221	231	+4.5%
土木工事業	79	95	+20.3%
建築工事業	119	108	-9.2%
第三次産業	529	639	+20.8%
小売業	122	137	+12.3%
医療保健業	63	78	+23.8%
社会福祉施設	88	125	+42.0%
飲食店	41	55	+34.1%
陸上貨物運送業	137	130	-5.1%
林業	38	36	-5.3%
清掃業	53	54	+1.9%
合計	1,277	1,448	+13.4%

《グラフ1》 県内の労働災害による休業4日以上死傷者数の推移(業種別・年別)



県内の労働災害による休業4日以上死傷者における事故の型別割合(平成28年) 《グラフ2》





厚生労働省冊子「重大な労働災害を防ぐためには」発行のご案内

陸運業においては、荷役災害等における安全対策を適切に実施していくため、厚生労働省と独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所において標記冊子が作成されました。災害パターン別の労働災害防止対策について紹介しており、有用な資料となっておりますので、労働安全衛生総合研究所ホームページよりダウンロードし、是非ご活用ください。

陸上貨物運送事業における

重大な労働災害を防ぐためには

荷役作業時の死亡災害にみる 災害パターン別の主な原因と対策

労働災害は長期的には減少傾向にありますが、陸上貨物運送事業における労働災害は引き続き多く発生しています。従業員が安全に、そして安心して仕事を行うためには、運送事業者と荷主企業が協力し、徹底して労働災害防止に取り組む必要があります。

本冊子では、陸上貨物運送事業における労働災害について、平成25年に死亡災害に至った実際の事例を紹介するとともに、災害パターン別の労働災害防止対策について紹介していきます。

災害パターン	割合
墜落・転落	21.1%
荷崩れ	19.3%
フォークリフト使用時	17.5%
無人暴走	15.8%
その他	21.1%
後退時	5.3%

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署
独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

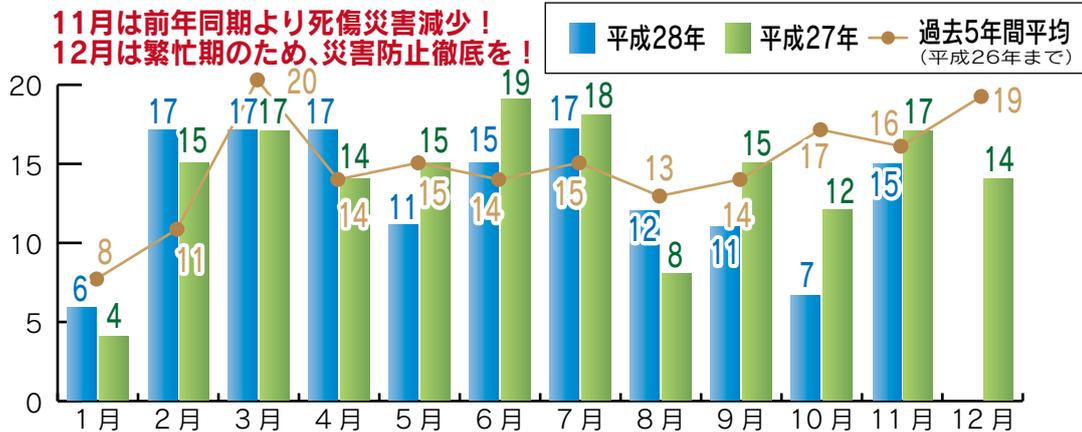
重大な労働災害を防ぐためには

検索

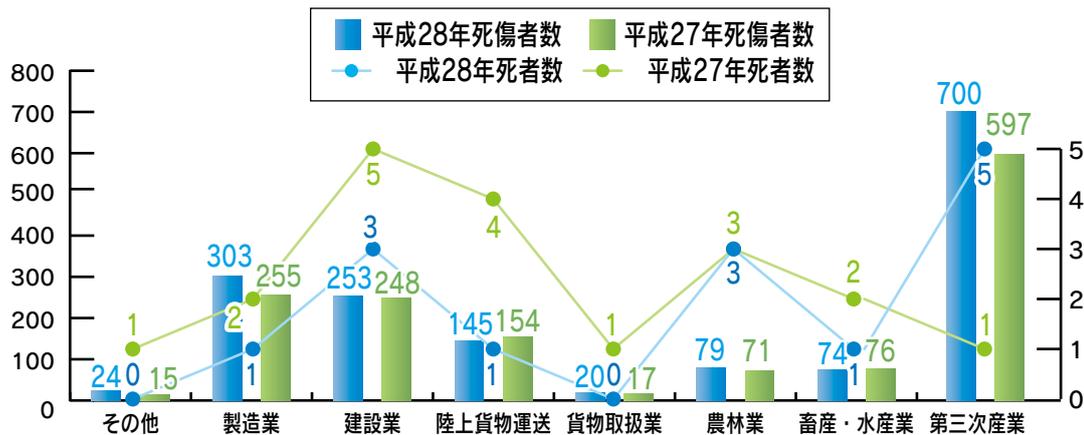


鹿児島県内における労働災害の発生状況(11月末現在)

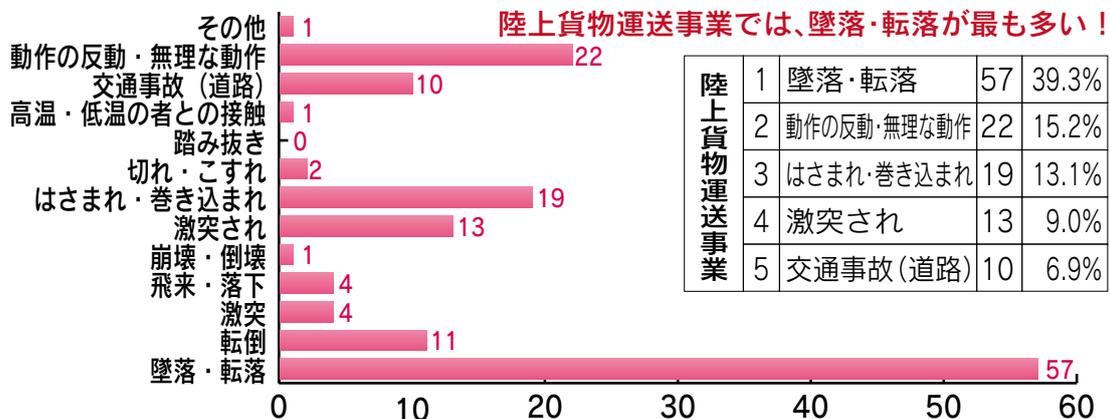
陸上貨物運送事業月別死傷災害発生状況



県内業種別死傷災害発生状況(累計)



県内の死傷災害形態別発生状況(平成28年)



Community Plaza

コミュニティ広場
[みんなのお知らせ掲示板]



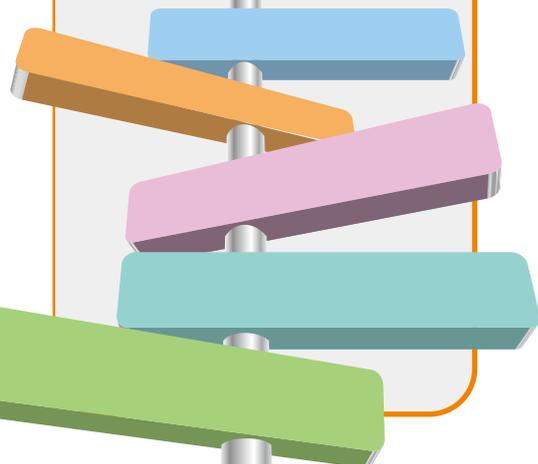
家族のネタや
自慢したいペットなど
写真付きでどしどし
お送りください。

送り先

E-mail アドレス kentora@kta.jp まで
住所・営業所名・氏名(ペンネーム可)



COMMUNITY
PLAZA編集部



年末年始の輸送等

安全総点検

～「安全・安心」の確保に向けて～

平成28年

12月10日(土)



平成29年

1月10日(火)



重点
点検事項

- 安全管理の実施状況
- 災害時等の通報・連絡・指示体制
- テロ対策
- 新型インフルエンザ対策



国土交通省

●ご回覧をお願いします。



トラックは、あなた。

あなたという人に届けるために
がんばっている、
それがトラックです。

～協会からのメッセージ～

船は港、列車は駅、飛行機も空港という「場所」に運ぶことはできるでしょう。しかしトラックは、「ひと」に届ける事ができる、唯一の存在なのです。運ぶことと届けることは、似ているようで少しちがう。あなたという人に届けるために困難を乗り越えてがんばっている。それがトラックです。

発行／公益社団法人 鹿児島県トラック協会
鹿児島市谷山港二丁目4-15
〒891-0131

☎099-261-1167

URL / <http://www.kta.jp>

E-mail / kentora@kta.jp

印刷 / 洵上印刷株式会社
